

(様式第 10)

近大総発第 157 号
平成 29 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

学校法人 近畿大学
開設者名 理事長 清水 由洋

近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3 丁目 4 番 1 号
氏 名	学校法人 近畿大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

近畿大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 3 7 7 番地の 2	電話(0 7 2) 3 6 6 - 0 2 2 1
--------------------------------------	---------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	⑦内分泌内科	⑧代謝内科
9 感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	

診療実績
感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科の内容は呼吸器内科で、リウマチ科の内容は血液内科で診ている。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
1 呼吸器外科	② 消化器外科
5 血管外科	⑥ 心臓血管外科
3 乳腺外科	7 内分泌外科
4 心臓外科	⑧ 小児外科
診療実績 呼吸器外科、乳腺外科、内分泌外科の内容は外科で診療している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

① 精神科	② 小児科	③ 整形外科	④ 脳神経外科	⑤ 皮膚科	⑥ 泌尿器科
⑦ 産婦人科	8 産科	9 婦人科	⑩ 眼科	⑪ 耳鼻咽喉科	⑫ 放射線科
⑬ 放射線診断科	⑭ 放射線治療科	⑮ 麻酔科	⑯ 救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科	② 矯正歯科
③ 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 形成外科	2 リハビリテーション科	3 病理診断科	4 腫瘍内科	5 心療内科	6 緩和ケア内科
7 漢方内科	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21			

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
10床	床	床	床	919床	929床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	601人	102人	618.1人	看 護 補 助 者	82人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	14人	13人	15.5人	理 学 療 法 士	19人	臨床検査技師	97人
薬 剤 師	80人	9人	82.9人	作 業 療 法 士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	18人	0人	18人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	904人	20人	918.2人	臨 床 工 学 士	30人	医療社会事業従事者	7人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	58人
歯 科 衛 生 士	6人	2人	7.6人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	395人
管 理 栄 養 士	13人	0人	13人	診 療 放 射 線 技 師	57人	そ の 他 の 職 員	9人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	38人	眼 科 専 門 医	15人
外 科 専 門 医	46人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	9人
精 神 科 専 門 医	5人	放 射 線 科 専 門 医	20人
小 児 科 専 門 医	25人	脳 神 経 外 科 専 門 医	14人
皮 膚 科 専 門 医	5人	整 形 外 科 専 門 医	14人
泌 尿 器 科 専 門 医	11人	麻 酔 科 専 門 医	13人
産 婦 人 科 専 門 医	14人	救 急 科 専 門 医	13人
		合 計	246人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (東田 有智) 任命年月日 平成28年 10月 1日

平成21年4月より継続して、院内感染防止対策委員会の委員長を平成29年3月まで務めていた。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	784.5人	3.4人	791.3人
1日当たり平均外来患者数	1,852.6人	101.0人	1,953.6人
1日当たり平均調剤数	入院939.2剤、外来3120.3剤、計4059.5剤		
必要医師数	191人		
必要歯科医師数	7人		
必要薬剤師数	51人		
必要(准)看護師数	462人		

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
			病 床 数		心 電 計	
集中治療室	204.20 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	病 床 数	9 床	心 電 計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 17.29 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	1 床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 32.03 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	622.88 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	(主な設備) 生化学自動分析装置日立7700型 生化学自動分析装置日立LABOSPECT008型			
細菌検査室	134.12 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	(主な設備) 血液培養装置バクテアラート3D COBAS Taqman48、嫌気ワークステーション			
病理検査室	155.87 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	(主な設備) 免疫染色装置ベンタナNX、 遺伝子増幅検出装置RD-100i			
病理解剖室	101.56 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	(主な設備) 解剖実験台			
研 究 室	4104.7 m ²	鉄骨造+ 鉄骨鉄筋 コンクリート造	(主な設備) 超音波画像診断装置、透過電子顕微鏡、 高速液体クロマトグラフ質量分析計、 共焦点レーザー走査型顕微鏡			
講 義 室	2042.22 m ²	鉄筋コンクリート造	室数 10 室		収容定員 1,869 人	
図 書 室	1557.83m ²	鉄筋コンクリート造	室数 5 室		蔵書数 164,000 冊程度	

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	83.2%	逆紹介率	61.2%
算 出 根 拠	A：紹介患者の数	20,860人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,397人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,449人		
	D：初診の患者の数	26,802人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学 医療安全推進部 病院教授・麻酔科 准教授	○	同医科大学において 医療安全部門に就いて おり、医療安全に精 通していることから 適任と判断したもの	有・ 無	1
山口 育子	NPO 法人ささえあい 医療法人 人権 センターCOML 理 事長		医療事故調査支援セ ンターの運営委員等 の職にも就かれ医療 安全に精通している ことから適任と判断 したもの	有・ 無	2
小島 崇宏	大阪 A&M 法律事務 所 医師・弁護士		医師として医療機 関での職歴もあり、法 学に関する専門知識 を有することから適 任と判断したもの	有・ 無	1
川田 暁	近畿大学医学部附 属看護専門学校長 近畿大学医学部附 属病院 皮膚科主任 教授		看護専門学校長を兼 任し医療人育成機 関の長として職務に 当たっており適任と判 断したもの	有 ・無	3
諸富 公昭	近畿大学医学部附 属病院 形成外科准教授		当院のリスクマネー ジャーの経験もあり、 医療安全に関する情 報共有も行っている ことから、適任と判断 したもの	有 ・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無

公表の方法

病院ホームページにて掲載

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法、根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん(洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る)	5人
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されたものに限る。)	0人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断	0人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びドセタキセル腹腔内投与の併用療法(腹膜播種を伴う初発の胃がん)	0人
カペシタイビン内服投与、シスプラチン静脈内投与及びドセタキセル腹腔内投与の併用療法	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘	0人
十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに係るものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	血小板凝集能モニタリング	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
冠動脈ステント留置術後に抗血小板薬を服用している症例に対して、患者および家族に説明・同意の上でさまざまな血小板機能検査法を用い血小板凝集能抑制効果を評価し、抗血小板薬抵抗性を示すメカニズムや原因を明らかにすることで、将来的に個々の症例に対して至適な抗血小板療法の選択が可能となることを目指している。			
医療技術名	心臓サルコイドーシスにおけるPET診断	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要			
FDG-PETを用いて心臓サルコイドーシスの炎症部位診断を行う。			
医療技術名	運動負荷心エコーを用いた虚血部位の診断	取扱患者数	215人
当該医療技術の概要			
運動負荷に心エコーを組み合わせ、心筋虚血を診断する。心エコーを用いて運動負荷前後の左室壁運動を比較して、心筋虚血を壁運動の低下部位から診断する。			
医療技術名	OCT(Optical Coherence Tomography:光干渉断層法)による冠動脈病変の描出	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
OCTは血管内超音波検査(IVUS)と比べて解像度が約10-15 μ mとIVUSの約10倍の高い分解能を有し、IVUSの弱点である石灰化や血栓などの評価に優れている。冠動脈疾患発生のメカニズムの解明や薬剤溶出性ステント治療後の評価に役立つ事が期待されている。			
医療技術名	冠動脈石灰化病変に対するRotablator治療	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
微少のダイヤモンド粒子でコーティングされた先端チップ(Burr)とそのBurrを回転させる駆動シャフトから構成され、Burrを15~19万回転/分で高速回転することにより、アテローム性プラークを切削する Deviceである。			
医療技術名	心房細動アブレーション	取扱患者数	157人
当該医療技術の概要			
心房細動を発症する原因となる不整脈源性を有する肺静脈の同定、カルトシステムによる3次元マッピングシステムとスマートタッチシステムによる安全なアブレーション、さらには多点同時マッピングシステムによる心房細動の機序解明などを行い、心房細動の根治治療を行っている。また、新規に導入された冷凍バルーンによる肺静脈隔離術も積極的に行っている。			
医療技術名	植え込み型除細動器ならびに心臓再同期療法	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
致死的不整脈のリスクを有する患者や薬物抵抗性の心不全と心室の非同期的収縮を有する患者に対する植え込み型の治療機器。			
医療技術名	肺高血圧症における運動負荷心エコーの有用性	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要			
肺動脈性肺高血圧症の患者に運動負荷心エコーと運動負荷右心カテーテル検査を同時に行い、各種血行動態のパラメーターを比較することにより運動負荷心エコー検査の有用性を検証する。また、運動負荷時の血行動態がその後の予後にどのように影響するかもあわせて検討する。			
医療技術名	食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要			
食道表在癌に対して、術前にNBI診断で進達度を評価し、一括切除できる内視鏡的粘膜下層剥離術を施行している。全周性の病変に対しても施行可能であり、術後狭窄予防のため、ステロイドの粘膜下層局注を行っている。			
医療技術名	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	146人
当該医療技術の概要			
早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を行っており、術前に超音波内視鏡による進達度診断、NBIによる切除範囲の確定を行っている。			

医療技術名	内視鏡的乳頭腫瘍切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 十二指腸乳頭部にできた腫瘍を内視鏡を用いて切除する。適応症例に施行することで外科的侵襲を防ぐことが可能になる			
医療技術名	糖脂質抗体および糖脂質複合体抗体の測定	取扱患者数	4,000人
当該医療技術の概要 糖脂質抗体は、ギラン・バレー症候群の診断に不可欠な抗体であり、主にELISA法によって測定を行っている。糖脂質複合体抗体は、当院当科オリジナルの抗体であり、独自の手法で測定を行っている。			
医療技術名	パーキンソン病の酸化DJ-1測定	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 DJ-1はパーキンソン病の原因遺伝子のひとつであり、パーキンソン病発症との関連が示唆されている。赤血球膜の酸化DJ-1が未治療のパーキンソン病で上昇するとの報告があり、補助診断としての応用を検討している。			
医療技術名	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の遺伝子診断	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 近年ALSの発症関連遺伝子が次々と明らかとなり、特に若年発症ALSとの関連が示唆されている。			
医療技術名	高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン+エトポシド併用療法(CE療法)とカルボプラチン+イリノテカン併用療法(CI療法)のランダム化比較第II/III相試験(JCOG1201/TORG1528)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第II/III相試験			
医療技術名	高悪性度神経内分泌肺癌完全切除例に対するイリノテカン+シスプラチン療法とエトポシド+シスプラチン療法のランダム化比較試験(JCOG1205/JCOG1206)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第III相試験			
医療技術名	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤療法とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験(JCOG1404/WJOG8214L)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第III相試験			
医療技術名	がん性胸膜炎に対する胸膜癒着療法のランダム化比較第3相試験: 滅菌調整タルク vs. OK-432 WJOG8415L (J-PLEURA)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第III相試験			
医療技術名	T790M変異以外の機序にてEpidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor (EGFR-TKI)に耐性化したEGFR遺伝子変異陽性非扁平上皮非小細胞肺癌に対するニボルマブとカルボプラチン+ペメトレキセド併用療法を比較する第II相臨床試験(WJOG8515L)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第II相試験			
医療技術名	既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルとnab-パクリタキセルのランダム化比較第III相試験(Japanese Intergroup Study of Nab-Paclitaxel (J-AXEL))	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第III相試験			
医療技術名	化学療法未施行IIIB/IV期・術後再発肺扁平上皮癌に対するCBDCA+TS-1併用療法後のTS-1維持療法の無作為化第III相試験(WJOG7512L)	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第III相試験			

医療技術名	再発および遠隔転移頭頸部扁平上皮細胞癌を対象としたネダプラチン/S-1/セツキシマブ併用療法 第II相臨床試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 医師主導の第II相試験			
医療技術名	未治療原発不明癌に対する次世代シーケンシングを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う第II相試験	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 医師主導の第II相試験			
医療技術名	固形癌に対する腫瘍遺伝子網羅的解析結果に基づく分子標的治療薬選択に関する観察研究	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要 パラフィン包埋ブロックからDNAおよびRNAを抽出 次世代シーケンサーなどを用いて約30遺伝子の遺伝子異常と融合遺伝子を検出する			
医療技術名	進行再発トリプルネガティブ乳癌を対象としたペンブロリズマブの3相試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 企業治験による比較第三相試験 エストロゲン受容体陰性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	エストロゲン受容体陽性、HER2陰性の閉経後進行再発乳癌を対象としたアペマシクリブとアロマターゼ阻害薬併用の3相試験	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 企業治験による比較第三相試験 エストロゲン受容体陽性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	エストロゲン受容体陽性、HER2陰性の閉経後進行再発乳癌を対象とした塩化ラジウム ²²³ の3相試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 企業治験による比較第三相試験 エストロゲン受容体陽性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	タモキシフェンのファーマコジェノミクス(CYP2D6)を用いた3相試験 (AMED)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 エストロゲン受容体陽性HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	HER2陰性進行再発乳癌におけるエリブリンとエスワン併用療法に関する2相試験	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第二相試験 HER2陰性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	4期乳癌に対する原発切除の意義に関する3相試験 (JCOG1017)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 4期乳癌を対象とし薬物療法と薬物療法に続く原発手術を比較			
医療技術名	再発高リスク乳癌術後患者のインテンシブフォローアップに関する3相試験 (JCOG1204)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験 ハイリスク根治手術後のフォローアップに関してインテンシブフォローの意義を検討			
医療技術名	HER2陽性進行再発乳がんに対するペルツズマブ再投与の意義を検討する3相試験 (JBCRG M05)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 医師主導の比較第三相試験。HER2陽性の進行再発乳癌を対象			
医療技術名	ニボルマブの有効性を検討するバイオマーカー試験 (Nivolution試験)	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 バイオマーカー第II相試験医師主導治験50例 既治療進行再発非小細胞肺癌に対してニボルマブと血液、腫瘍組織のバイオマーカー候補との有効性の相関を検討			

医療技術名	AXL阻害剤ASP2215とタルセバの併用療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 企業治験による併用臨床第I相試験 EGFR遺伝子変異陽性症例 第1世代EGFRチロシキナーゼ阻害剤の既治療例でT790M遺伝子変異陰性症例			
医療技術名	肺がんを対象としたPD1抗体であるMK3475とプラチナ併用療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 企業治験の併用第I相比較試験 IV期非小細胞肺癌初回治療例 シスプラチン+ペムトレキセドまたはカルボプラチン+ペムトレキセドを選択して併用			
医療技術名	第2世代ALK阻害剤セリチニブ単剤による治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 企業治験によるII相試験 EML4-ALK融合遺伝子陽性クリゾチニブ既治療症例を対象			
医療技術名	DS-6051b第I相臨床試験 - ROS1又はNTRK融合遺伝子を持つ日本人固形癌患者におけるDS-6051bの安全性及び薬物動態の評価	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 企業治験による併用臨床第I相試験。ROS1/NTRK融合遺伝子陽性症例 DS-6051bを漸増し至適容量を決定する			
医療技術名	固形癌を対象としたPD1抗体であるMK3475の第II相試験	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 企業治験の第II相バイオマーカー試験 10癌腫(小細胞肺癌、胆管がん、胸膜中皮腫、唾液腺がん、子宮体癌/頸癌などを対象 MK-3475の有効性を検討する			
医療技術名	第2世代ALK阻害剤セリチニブ単剤による治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 企業治験によるII相試験。EML4-ALK融合遺伝子陽性クリゾチニブ既治療症例を対象			
医療技術名	気管支サーモプラスチックシステム(Bronchial Thermoplasty)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 気管支鏡下でラジオ波によって気管支壁を加熱することで、肥厚した気管支平滑筋を減少させて難治性喘息の増悪を抑制する新規治療法である。1患者に3回の入院で治療する。西日本では当院で開始され、現在も他施設から見学に来られ、技術指導を行っている。			
医療技術名	気管支充填材(EWS)による気管支充填術(気管支塵孔閉鎖術)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 従来の治療方法で治癒できない難治性気胸や気道出血に対して、シリコン製の気管支充填材(EWS: Endoscopic Watanabe Spigot)を気管支鏡を用いて気管支内部から充填して治療する方法で、外科手術を回避する効果がある。			
医療技術名	PMX-DHP (polymyxin B-immobilized fiber column direct hemoperfusion)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 敗血症、急性呼吸促進症候群(ARDS)、特発性肺線維症(IPF)の急性増悪などに対して、ポリミキシンB固定化線維カラムを用いた直接血液灌流法にてエンドトキシンを除去し、酸素化の障害を改善する治療方法。			
医療技術名	難治性腸管GVHDに対する経口ベクロメタゾン内服治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 同種造血幹細胞移植後の腸管GVHDに対して、ステロイドの全身投与にて効果が無い場合に、非吸収性のベクロメタゾンの経口内服により、副腎皮質ステロイドホルモンの全身投与の副作用なしにて、腸管GVHDの治療を行なう。			
医療技術名	難治性GVHDに対するミコフェノールモヘチル(MMF)治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 副腎皮質ステロイドホルモンに抵抗性GVHDを呈する患者に対して、ミコフェノールモヘチルの投与を行う。			
医療技術名	頻回再発型ネフローゼ症候群に対する高用量プレドニソン治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 プレドニソン血中濃度モニタリングを行ない、投与量を調節して、小児頻回再発型ネフローゼ症候群の治療を行なう。			

医療技術名	FDG-PETに基づいた進行食道癌治療戦略の個別化	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要			
我々はFDG-PETの集積値:SUVmaxが腫瘍量ならびに予後と強い相関があることを報告してきた。切除可能症例であっても、PETでLNにFDGの集積を認めるPET-N(+)やLNへの集積がなくても主腫瘍にSUCmax>6.02以上の集積があれば遠隔再発高危険群で、極めて予後不良で、術前化学療法の適応と考えられる。また、治療後のPETにおいて集積が消失した症例は組織学的効果も高く、予後も良いことも報告してきた。このようにPETにより治療前および治療後の予後予測を基に術前治療の個別化を行い、治療の質の向上を図っている。			
医療技術名	胃切後食道癌における食道切除後の有茎空腸による血行再建を伴う安全な食道再建術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
過去に胃切の既往のある患者さんは、その後に食道癌を維持制に発症する確率は比較的高い。しかし、その食道切除後の再建に関しては大腸や小腸を用いて再建せざるを得ず、その難易度は高い。近隣の施設からの依頼を多く受けるが、その術式の最大の問題点は挙上性とグラフトの血流確保である。挙上性を優先して血管丙を切離すれば血流が悪くなる。いずれをも満足するために、形成外科医と協力して積極的に血管吻合を付加して安全の向上に努めている。内胸動静脈と空腸の動静脈を吻合するが、近年はそのためグラフト壊死は経験していない。			
医療技術名	多施設での治療困難症例(初回治療後の手術困難または術後合併症後の再建困難)の治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
多施設で初回治療として化学療法または化学放射線療法を行った後の治療困難症例の紹介を受けて治療を継続して治癒を目指している。手術の可能性があれば、治療後のためあまり時間は空けることができず、準緊急で対応することもある。また、治療中の合併症に対する緊急対応や手術を行ったが合併症で再建困難な状況に陥った症例の再建術も紹介を受ければ積極的に取り組んでいる。現在のところはほぼ対応ができていく状況である。南大阪で癌難民を作らないのが我々の使命と考えて取り組んでいる。			
医療技術名	腹膜転移陽性進行胃癌に対するS-1+CDDP+Paclitaxel3剤併用術前化学療法の有用性	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
予後不良である腹膜播種陽性胃癌に対して、一般に用いられているTS-1+CDDP療法に腹腔への良好な移行性を示すPaclitaxelを加えることにより腹膜転移巣の抗腫瘍効果を期待し、期待通りの奏効が得られた症例には手術を追加して根治を目指す治療である。			
医療技術名	75歳未満の4型または大型3型胃癌に対する術前化学放射線療法の有用性	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
4型または大型3型胃癌は強力に術前化学療法を行ったとしても原発巣の抗腫瘍効果はそれ程高くなく、術後の腹膜播種再発の可能性が高く、予後不良である。そこで原発腫瘍を強力に抑え込むことで腹腔への進展を抑制し、予後改善を図る目的で術前化学放射線療法を導入して成績向上を図っている。日本では胃癌に対して化学放射線療法を用いた初めての臨床試験である。			
医療技術名	75歳以上の4型または大型3型胃癌に対する術前化学放射線療法の有用性	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
4型または大型3型胃癌は腹膜播種再発高危険群であるが、75歳以上の高齢者に対しては臓器機能低下から強力な化学療法の上乗せは困難である。しかし手術単独ではほとんど治癒が望めないことも明らかである。そこで局所治療である放射線を追加し、局所制御効果を高めつつ、全身の副作用を抑えて治療完遂率を上げ、成績向上を図っている。			
医療技術名	腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌に対するS-1+パクリタキセル 経静脈・腹腔内併用療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
腹膜播種陽性胃癌の予後は非常に不良である。この腹膜播種を制御することが最大の鍵である。そこで腹腔ポートを留置し腹腔内化学療法と全身化学療法を併用することにより腹腔内遊離癌細胞、原発腫瘍ならびにLN転移巣を併せて攻撃することで癌細胞を死滅させる。期待通りの奏効が得られた症例には手術を追加して根治を目指す治療である。本治療法は既に患者申出療養として厚生労働大臣の告知を受けている(患者申出療養)。			
医療技術名	胸腔鏡補助下肺区域切除	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
比較的早期の肺癌に関して、胸腔鏡補助下に小切開より肺区域切除をうい、肺機能の温存を行いつつ根治性の高い手術を			

医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	37人
当該医療技術の概要 両側高度感音難聴に対して行われるインプラント埋め込み術。最近では高音急墜型感音難聴に対し、残存聴力保存型人工内耳埋め込み術(EAS)を施行している。			
医療技術名	人工中耳(VSB)埋め込み術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 鼓室形成術でも聴力改善が困難であった例に対して行われるインプラント埋め込み術。骨固定式骨導補聴器と比較し、よりクリアな音質で聴力を獲得することができる。			
医療技術名	頭頸部表在癌に対する経口的内視鏡切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 内視鏡の進歩により施行されるようになった頭頸部表在癌に対する低侵襲手術。早期下咽頭癌などが適応となる。			
医療技術名	ロボット支援下子宮頸がん・体がん根治術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 手術支援ロボット(da Vinci Si)を用いた子宮頸がんおよび体がん根治術である。従来の開腹術に比較して低侵襲であり、排尿機能障害などの術後合併症も少なくなるという利点がある。癌の根治性についても良好な結果が得られるものである。			
医療技術名	子宮頸癌・子宮体癌における超常磁性酸化鉄(SPIO)造影MRIを用いた所属リンパ節転移診断に関する検討	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 子宮頸癌・体癌のリンパ節転移の診断精度を向上させるため、子宮に頸部にSPIOを局注し、MRIを撮像する。			
医療技術名	認知症における脳FDG-PET	取扱患者数	76人
当該医療技術の概要 脳の糖代謝異常をみることによりアルツハイマー病と他の認知症疾患を鑑別することができる。 一部は先進医療Bで施行。			
医療技術名	脳アミロイドPET	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 アルツハイマー病の原因とされるアミロイドタンパクの脳への沈着をPETにより生体で画像化できる検査			
医療技術名	脳タウPET	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 アルツハイマー病他タウが原因とされる疾患においてタウタンパクの脳への沈着をPETにより生体で画像化できる検査			
医療技術名	脳メチオニンPET	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 脳腫瘍の進展範囲・再発の有無をアミノ酸代謝が盛んな部位としてPETにより生体で画像化できる検査			
医療技術名	FMISO-PET	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 放射線治療抵抗性のある低酸素細胞をFMISO-PETにより生体で画像化できる検査			
医療技術名	経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(以下 TIPS)は、門脈圧亢進症に起因するさまざまな症状に対する治療法であり、経皮的に肝内で門脈大循環短絡路を作成することで亢進した門脈圧を減圧します。			
医療技術名	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 胃静脈瘤の流出血管(通常は左腎静脈への後胃静脈)にバルーンカテーテルを挿入して、バルーンを膨らませて血流を止めた状態で胃静脈瘤およびそれを形成する血管叢に硬化剤(オルダミン)を注入して一定時間滞留させ、胃静脈瘤を止血します。			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	95
2	筋萎縮性側索硬化症	46	57	特発性拡張型心筋症	86
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	11
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	19	60	再生不良性貧血	50
6	パーキンソン病	394	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	7	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	119
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	6
11	重症筋無力症	135	66	IgA 腎症	32
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	14
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	121	68	黄色靱帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	51	69	後縦靱帯骨化症	89
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クドウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	40
17	多系統萎縮症	23	72	下垂体性ADH分泌異常症	23
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	65	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	3	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	8	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	24	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	54
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	6	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	7	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	162
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	53
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	30
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	15
34	神経線維腫症	27	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	36	90	網膜色素変性症	118
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	27	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	53
39	中毒性表皮壊死症	4	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	26	95	自己免疫性肝炎	19
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	100
42	結節性多発動脈炎	19	97	潰瘍性大腸炎	351
43	顕微鏡的多発血管炎	64	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	20	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	13	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	24	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	17	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	350	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	135	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	176	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	53	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	26	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	7	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	3	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコフ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128	ピッカー・スタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウイリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	1
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	31	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	15
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノニー・ウェーバー症候群	1
234	ペロオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	1
251	尿素サイクル異常症	0	299	囊胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	9
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)(一次再建、二次再建)
・糖尿病合併症管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・がん患者指導管理料(1,2,3)	・羊膜移植術
・外来緩和ケア管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・移植後患者指導管理料(臓器移植後患者指導管理料、造血幹細胞移植後患者指導管理料)	・網膜再建術
・糖尿病透析予防指導管理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術、人工中耳用材料
・院内トリアージ実施料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・ニコチン依存症管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・薬剤管理指導料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)(一次一次的再建、一次一次的再建及び二次再建)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医療機器安全管理料1	・経カテーテル大動脈弁置換術
・医療機器安全管理料2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・歯科治療総合医療管理料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・持続血糖測定器加算	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・遺伝学的検査	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(IV)	・補助人工心臓
・国際標準検査管理加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・遺伝カウンセリング加算	・内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・体外衝撃波胆石破碎術
・胎児心エコー法	・腹腔鏡下肝切除術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・光トポグラフィー	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・脳波検査判断料1	・同種死体腎移植術
・神経学的検査	・生体腎移植術
・補聴器適合検査	・膀胱水圧拡張術
・コンタクトレンズ検査料(1)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・内服・点滴誘発試験	・人工尿道括約筋植込・置換術
・センチネルリンパ節生検(片側)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影(100分の100、特定機能病院、がん診療の拠点となる病院)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・CT撮影及びMRI撮影	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・冠動脈CT撮影加算	・輸血管管理料Ⅰ
・外傷全身CT加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・心臓MRI撮影加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・乳房MRI撮影加算	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・麻酔管理料(Ⅰ)
・外来化学療法加算1	・麻酔管理料(Ⅱ)
・無菌製剤処理科	・放射線治療専任加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・外来放射線治療加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・高エネルギー放射線治療
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・1回線量増加加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・がん患者リハビリテーション料	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・リンパ浮腫複合的治療料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・定位放射線治療

・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・透析液水質確保加算(2)	・画像誘導密封小線源治療加算
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・病理診断管理加算(2)
・CAD/CAM冠	・口腔病理診断管理加算(2)
・歯科技工加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・歯科矯正診断料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・平成28年度は該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	29回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 29例 / 剖検率 4.99%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨一疾患連関を基盤に骨折予防を健康寿命延伸に繋げる大規模コホートの長期追跡	伊木 雅之	公衆衛生学	9,200,000	(補委) 日本学術振興会
体脂肪分布の多様性の形成と代謝循環機能:日本人小児一般集団の大規模追跡研究	甲田 勝康	公衆衛生学	3,200,000	(補委) 日本学術振興会
救急医療におけるワークフォースに関する検討	平出 敦	救急医学	2,100,000	(補委) 日本学術振興会
脳機能イメージングを用いた木材による人の心理生理反応とその評価方法に関する研究	東 賢一	環境医学・行動科学	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
グライコアレイ法を用いた免疫性神経疾患の標的抗原の同定と病態解析	楠 進	神経内科	4,300,000	(補委) 日本学術振興会
マウスAPOBEC3のプロテアーゼ抑制機構解明による新規抗レトロウイルス薬開発	宮澤 正顕	免疫学	3,600,000	(補委) 日本学術振興会
MET遺伝子のエクソン14欠失変異を有する肺腺癌に対する分子標的治療	光富 徹哉	外科	5,700,000	(補委) 日本学術振興会
腎細胞癌に対するHLA-A2拘束性マルチペプチドワクチンの開発	植村 天受	泌尿器科	4,200,000	(補委) 日本学術振興会
卵巣癌のゲノム多様性に基づく播種・転移・薬剤耐性・免疫逃避機構の解明と臨床応用	万代 昌紀	産科婦人科	6,400,000	(補委) 日本学術振興会
アルファ線放出核種ラジウム-223による骨転移治療の基礎的検討	細野 眞	高度先端総合医療センター	900,000	(補委) 日本学術振興会
口蓋裂形成手術後のろう乳発生を防止するための多血小板血漿を用いた臨床学的研究	松永 和秀	歯科口腔外科	800,000	(補委) 日本学術振興会
運動習慣による傷害脳再生起点の延長	丹羽 淳子	薬理学	900,000	(補委) 日本学術振興会
運動中の体性感覚フィードバック処理のメカニズム	村田 哲	生理学	500,000	(補委) 日本学術振興会
大脳皮質と基底核の機能連関による時間計測機構	稲瀬 正彦	生理学	700,000	(補委) 日本学術振興会
HER2陽性乳癌、胃癌におけるheregulinによる抗HER2薬の効果予測	鶴谷 純司	腫瘍内科	800,000	(補委) 日本学術振興会
体内時計中枢である視交叉上核における光入力制御に係わるゲート機構の解明	長野 護	解剖学	800,000	(補委) 日本学術振興会
体内時計中枢ゲート機構の探求一位相特異的光照射情報遮断の仕組みに迫る	重吉 康史	解剖学	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
粘膜免疫におけるCCL28の役割の解明	義江 修	微生物学	300,000	(補委) 日本学術振興会
大規模男性コホート研究による骨粗鬆症性骨折リスク評価法FRAXの有効性評価と改良	由良 晶子	公衆衛生学	400,000	(補委) 日本学術振興会
大腸癌、炎症性腸疾患における新規治療標的分子およびバイオマーカーの探索	櫻井 俊治	消化器内科	900,000	(補委) 日本学術振興会
気管支喘息における呼吸困難と脳活動に関する研究	東本 有司	呼吸器・アレルギー内科	100,000	(補委) 日本学術振興会
IRS1/インスリンシグナルによるポドサイト障害修復メカニズムの解明	美馬 晶	奈良病院 腎臓内科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
1型糖尿病濃厚発症家系を用いた1型糖尿病疾患感受性遺伝子の同定と機能解析	川畑 由美子	内分泌・代謝・糖尿病内科	600,000	(補委) 日本学術振興会
免疫寛容破綻の機序解明とその制御による1型糖尿病発症修飾への応用	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	800,000	(補委) 日本学術振興会
小児胆汁うっ滞性疾患における胆汁酸/糖・脂質代謝制御機構破綻のメカニズムの検討	近藤 宏樹	奈良病院小児科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会

ミノリピン吸収における濃縮型拡散トランスポーターの関与	岡田 満	総合医学教育研修センター	700,000	補委	日本学術振興会
抗精神病薬の作用機序を探る; Kv3チャネルファミリーの発現調節	柳 雅也	精神神経科	800,000	補委	日本学術振興会
非侵襲的組織成分診断の為のVirtual CT生検技術の確立	村上 卓道	放射線(診断)	300,000	補委	日本学術振興会
転移性脳腫瘍におけるWT1ワクチン療法・分子標的治療併用新規集学的治療法の開発	泉本 修一	脳神経外科	900,000	補委	日本学術振興会
迷走神経刺激療法におけるレスポンドのバイオマーカーの探求	加藤 天美	脳神経外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞移植した同種脱細胞化神経片含有血管柄入りチューブ内での神経再生	柿木 良介	整形外科	800,000	補委	日本学術振興会
前立腺特異的PTEN/p53ダブルノックアウトマウスモデルに関する研究	デベラスコ マルコ	ゲノム生物学	700,000	補委	日本学術振興会
羊水特異マーカーSCCを用いた母体への羊水流入の影響に関して	大井 豪一	奈良病院産婦人科	800,000	補委	日本学術振興会
聴覚器官としての球形囊の役割—不可聴音の聴覚認知への関与—	瀬尾 徹	耳鼻咽喉科	400,000	補委	日本学術振興会
両眼開放視野計の開発ならびに正常者、緑内障への応用	松本 長太	眼科	100,000	補委	日本学術振興会
自動動的視野測定プログラムの臨床開発	橋本 茂樹	眼科	800,000	補委	日本学術振興会
未熟児網膜症におけるperiostinの役割と2種の抗血管内皮増殖因子治療の検討	日下 俊次	堺病院眼科	800,000	補委	日本学術振興会
2×2分割表における因果効果の正確検定に関する研究	千葉 康敬	臨床研究センター	700,000	補委	日本学術振興会
胎生期から成長期の栄養環境が脂質吸収に及ぼす影響	上裕 俊法	臨床検査医学部	900,000	補委	日本学術振興会
緑茶が及ぼす加齢ラット脳外傷後の脳機能改善効果及び神経再生促進効果に関する研究	佐藤 隆夫	病院病理部	1,200,000	補委	日本学術振興会
PMS症状を標的とした女性アスリートパフォーマンス改善への栄養学的アプローチ	武田 卓	東洋医学研究所	1,700,000	補委	日本学術振興会
臓器結合型アディポネクチンによる心疾患抑制機構と治療的効果に関する研究	井上 敬夫	病理学	1,700,000	補委	日本学術振興会
アストロサイトを高発現するDISC1の機能解析～統合失調症との関連を中心に～	遠山 正彌	東洋医学研究所	1,200,000	補委	日本学術振興会
哺乳類中枢時計における測時領域の形態機能学的解析	鯉沼 聡	解剖学	800,000	補委	日本学術振興会
糖尿病による骨/骨髄相互関連の幹細胞分化誘導障害における線溶系因子の役割の解明	岡田 清孝	基礎医学部門研究室	1,100,000	補委	日本学術振興会
力学的因子により誘導される筋と骨のネットワークシステム	梶 博史	再生機能医学	1,100,000	補委	日本学術振興会
末梢体内時計の人為的操作と概日リズム機構の回復の試み	筋野 貢	解剖学	800,000	補委	日本学術振興会
ホメオダイナミクス再生促進創薬の基礎的研究	高橋 英夫	薬理学	1,200,000	補委	日本学術振興会
非ステロイド性抗炎症薬による小腸粘膜傷害でのガレクチン-3および腸内細菌の役割	朴 雅美	微生物学	1,400,000	補委	日本学術振興会
血清分泌型マイクロRNAを用いたソラフェニブ治療効果予測マーカーの開発	工藤 正俊	消化器内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する癌幹細胞を標的とした新規治療法の開発	福岡 和也	臨床研究センター	1,000,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病発症因子の解明: 多因子疾患における相互作用の検証	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
1型糖尿病の自己免疫と臓器特異性を一元的に説明する遺伝子の同定と機能解析	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	900,000	補委	日本学術振興会

クラスリン依存性エンドサイトーシスを標的とした新規白血球治療法の開発	松村 到	血液・膠原病内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
皮膚悪性腫瘍の全エクソソームによる網羅的遺伝子変異解析	大磯 直毅	皮膚科	1,200,000	補委	日本学術振興会
食道癌手術後膵臓に対する潜在的ハイリスク患者の予測システムの構築とその臨床応用	安田 卓司	外科	800,000	補委	日本学術振興会
ステージIII大腸癌の再発予防におけるペプチドワクチン療法の優越性に関する研究	川村 純一郎	外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
肺がん脳転移発症におけるM2マクロファージの病的意義の解明	奥田 武司	脳神経外科	800,000	補委	日本学術振興会
グリオーマ治療後脳放射線壊死におけるM2マクロファージの病的意義の解明	藤田 貢	微生物学	1,400,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌に対する癌ワクチン療法に応用しうるペプチドの同定	南 高文	泌尿器科	1,000,000	補委	日本学術振興会
内耳に発現するRhoA/ROCK pathwayの分子構造と生理機能の解析	土井 勝美	耳鼻咽喉科	1,200,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌における機能温存を目指した集学的治療に対するバイオマーカーの開発	家根 且有	奈良病院耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	日本学術振興会
高密度視野測定による視野感度の研究	奥山 幸子	眼科	400,000	補委	日本学術振興会
変視症の定量化に関する研究	小池 英子(有村)	眼科	1,000,000	補委	日本学術振興会
運動器再生におけるNr2の機能と間葉系幹細胞における重要性の解明	福田 寛二	リハビリテーション医学	1,400,000	補委	日本学術振興会
オリゴデンドロサイト機能異常によるうつ病発症機構へのダンパメチル化の関与	宮田 信吾	東洋医学研究所	1,500,000	補委	日本学術振興会
エキソソームを用いたALK融合遺伝子検出	坂井 和子	ゲノム生物学	1,500,000	補委	日本学術振興会
脂肪蓄積による筋と骨のネットワーク破壊メカニズムの解明	河尾 直之	再生機能医学	1,300,000	補委	日本学術振興会
漿膜に発生した石灰化線維性偽腫瘍と悪性中皮腫の鑑別の検討	清水 重喜	病理学	1,000,000	補委	日本学術振興会
糖尿病に伴う腸管神経変性における接着分子CADM1の病的意義	米重 あづさ	病理学	1,400,000	補委	日本学術振興会
レトロウイルス誘発がん制御におけるB細胞TLR7シグナルの重要性	河原 佐智代	免疫学	1,500,000	補委	日本学術振興会
APOBEC3によるGag-Pol前駆体プロセッシング阻害の機序解明	博多 義之	免疫学	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺粘膜滞在型メモリーCD8T細胞維持機構の解明	高村 史記	免疫学	1,500,000	補委	日本学術振興会
金属含有放射線遮蔽紙を用いた新しい放射線防護体系の確立	門前 一	医学研究科	1,500,000	補委	日本学術振興会
メチローム・クロモソーム解析に基づく肝癌転移関連分子の同定と臨床応用	西田 直生志	消化器内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
心腎脳連関におけるバゾプレッシン系と交感神経系のクロストークの解明	岩永 善高	循環器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症の原因遺伝子ERBB4を介する発症機序解明と抗がん剤の効果検証	平野 牧人	堺病院神経内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
未分化造血細胞の異常に起因する多発性骨髄腫の新たな発生機構についての解析	田中 宏和	血液・膠原病内科	1,800,000	補委	日本学術振興会
関節炎に対する抗Tim-1抗体の治療戦略への応用について	野崎 祐史	血液・膠原病内科	700,000	補委	日本学術振興会
近赤外線スペクトロスコピーによる気分障害におけるうつ状態の客観的評価法の開発	白川 治	精神神経科学	1,000,000	補委	日本学術振興会
アミノ酸イメージングと癌シグナル伝達因子による脳腫瘍患者の予後予測マーカーの解明	甲斐田 勇人	放射線(診断)	1,000,000	補委	日本学術振興会

肝動脈化学塞栓療法におけるデュアルエナジーCTを用いた定量的治療効果判定	兵頭 朋子	放射線(診断)	800,000	補委	日本学術振興会
治療室内CT画像に基づく適応放射線治療の確立	西村 恭昌	放射線(腫瘍)	1,200,000	補委	日本学術振興会
局所的レニン・アンギオテンシン系(RAS)活性化による関節軟骨変性の機序の解明	赤木 将男	整形外科	1,900,000	補委	日本学術振興会
小耳症軟骨細胞を用いて誘導した再生軟骨とその長期移植成績	磯貝 典孝	形成外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
学校における医療緊急時対応指針の開発	西内 辰也	救急医学	1,500,000	補委	日本学術振興会
地域包括ケアの理念に基づく在宅看取りを推進する市民啓発プログラムの開発	河野 政子	看護部	800,000	補委	日本学術振興会
大脳皮質ニューロンにおける感覚運動相互作用の神経動態	望月 圭	生理学	1,200,000	補委	日本学術振興会
多発性硬化症のウイルスモデルのTh17/Treg細胞の役割は病期によって異なるか	角田 郁生	微生物学	1,100,000	補委	日本学術振興会
オキサリプラチン誘発性肝類洞閉塞症候群における血液凝固線溶系機序の解明と治療応用	辰巳 公平	再生機能医学	1,100,000	補委	日本学術振興会
がん患者の神経障害性疼痛へのプレガバリン投与後のデュロキセチンの治療応用	松岡 弘道	心療内科	800,000	補委	日本学術振興会
β -catenin/CBP経路の選択的な活性化による新規IPS細胞作製法の開発	竹原 俊幸	高度先端総合医療センター	900,000	補委	日本学術振興会
遺伝子導入による体細胞からの間葉系幹細胞の誘導	寺村 岳士	高度先端総合医療センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
肝切除術臓器障害改善の試み	濱崎 真一	麻酔科	1,000,000	補委	日本学術振興会
脳損傷後の神経回路再建および臨床応用への統合的研究	田中 貴士	東洋医学研究所	1,400,000	補委	日本学術振興会
オリゴデンドロサイトにおける統合失調症関連因子DBZの機能解析	清水 尚子	東洋医学研究所	1,200,000	補委	日本学術振興会
HMGB-1を標的とする血管新生阻害薬の開発	小堀 宅郎	薬理学	1,200,000	補委	日本学術振興会
接着分子を標的とする肺気腫治療の創薬シーズ探索	萩山 満	病理学	1,200,000	補委	日本学術振興会
ARPE-19におけるuPA/uPAR制御性EMTの検討	青松 圭一	眼科学	500,000	補委	日本学術振興会
敗血症性ショックにおける早期診断マーカーの研究	濱口 満英	救急医学	1,200,000	補委	日本学術振興会
ドライバー遺伝子肺癌の薬剤感受性メカニズムの解明	武田 真幸	腫瘍内科	800,000	補委	日本学術振興会
血漿遊離DNAを用いたEGFR-TKI耐性機序の解明と臨床的有用性検討	金田 裕靖	腫瘍内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
廃プラスチックマテリアルリサイクルによる排ガスの大気化学反応の究明と処理法の検証	水越 厚史	環境医学・行動科学	1,000,000	補委	日本学術振興会
非小細胞肺癌におけるEGFR-TKI耐性克服戦略の最適化に関わる研究	吉田 健史	緩和ケアセンター	600,000	補委	日本学術振興会
肺癌の個別化治療:HER2遺伝子変異毎の治療戦略開発	富沢 健二	外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
筋の分布は量と独立して骨折リスクを上げるか 日本人女性の大規模コホート研究	立木 隆広	公衆衛生学	2,500,000	補委	日本学術振興会
腫瘍根絶に向けた受容体チロシンキナーゼの細胞内輸送制御による新規抗腫瘍療法の確立	頼 晋也	血液・膠原病内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
EGFR肺癌と第二世代キナーゼ阻害剤:獲得耐性の網羅的解析と個別化治療の新展開	小林 祥久	外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
driver遺伝子異常肺癌に対する分子標的薬の耐性化と、抗PD1抗体の有効性	林 秀敏	腫瘍内科	1,600,000	補委	日本学術振興会

TAK1抑制によるiPS細胞作成効率の改善と新規未分化維持培養系の開発	小野寺 勇太	高度先端総合医療センター	1,000,000	補委	日本学術振興会
社会的報酬の情報処理における腹側線条体と扁桃体の機能的結合形成	倉岡 康治	生理学	2,400,000	補委	日本学術振興会
細胞内複製制限因子APOBEC3の進化要因としての異種由来レトロウイルス	宮澤 正顕	免疫学	4,100,000	補委	日本学術振興会
糸球体血行動態調節機構の加齢性変化:腎臓の老化における病態生理的意義	有馬 秀二	腎臓内科	800,000	補委	日本学術振興会
味覚の認知能力と体組成:地域小児集団の研究	藤田 裕規	公衆衛生学	1,500,000	補委	日本学術振興会
立つ・歩くことと大脳皮質-大脳基底核ループとのかかわり	中崎 克己	生理学	500,000	補委	日本学術振興会
内圧上昇が病変形成に至る分子基盤の解析	伊藤 彰彦	病理学	1,400,000	補委	日本学術振興会
骨形成指標のオステオカルシンで糖尿病の発症を予測できるか大規模コホート研究	伊木 雅之	公衆衛生学	2,600,000	補委	日本学術振興会
新たな治療手法に対応する医療放射線防護に関する研究	細野 眞	高度先端総合医療センター	2,464,000	補委	厚生労働省
難治性小児肝内胆汁鬱滞症に対するフェニル酪酸ナトリウムの効果追加を目的とした臨床研究	近藤 宏樹	奈良病院小児科	26,403,847	補委	日本医療研究開発機構
Liquid Biopsyによる分子標的薬の治療感受性・抵抗性の予測および新規獲得耐性機序の解明	西尾 和人	ゲノム生物学	12,153,846	補委	日本医療研究開発機構
チロシンキナーゼ阻害薬による慢性骨髄性白血病の治療を目指した研究	松村 到	血液・膠原病内科	21,230,773	補委	日本医療研究開発機構
がん疼痛へのオピオイド使用に対するバイオマーカーを用いたランダム化比較試験	中川 和彦	腫瘍内科	19,230,770	補委	日本医療研究開発機構
未治療原不明癌に対する次世代シーケンスを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う第Ⅱ相試験	中川 和彦	腫瘍内科	26,781,539	補委	日本医療研究開発機構
慢性ウイルス性肝炎の病態把握(重症度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測)のための非侵襲的診断アルゴリズムの確立	工藤 正俊	消化器内科	28,746,154	補委	日本医療研究開発機構
免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	楠 進	神経内科	16,930,770	補委	日本医療研究開発機構
SGK1阻害による新規うつ病治療薬の探索-スクリーニング	宮田 信吾	東洋医学研所	36,576,392	補委	日本医療研究開発機構
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	西村 恭昌	放射線(腫瘍)	16,478,207	補委	日本医療研究開発機構
HPV関連中咽頭癌の治療最適化に関する研究	家根 旦有	奈良病院耳鼻咽喉科	3,846,158	補委	日本医療研究開発機構
がんゲノム個別化医療の実現に向けた遺伝子診断共通カリキュラム構築と教育・研修プログラムの実証的開発研究	西尾 和人	ゲノム生物学	30,769,231	補委	日本医療研究開発機構
FDG-PETによるアルツハイマー病の診断に関する多施設共同研究-SDAF-PETコホートスタディ	石井 一成	早期認知症センター	1,560,505	補委	日本医療研究開発機構
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	540,000	補委	日本医療研究開発機構

計 131

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Heiraro Watanabe Yoshitaka Iwanaga Yuki Miyaji et al.	近畿大学医学部 循環器内科	Renal denervation mitigates cardiac remodeling and renal damage in Dahl rats: a comparison with β -receptor blockade	Hypertension Research.2016 Apr.;39(4):217-226	Original Article
2	Yuki Miyaji Yoshitaka Iwanaga Takashi Nakamura et al.	近畿大学医学部 循環器内科	Interrelationship between the Myocardial Mass, Fibrosis, BNP, and Clinical Outcomes in Hypertrophic Cardiomyopathy	Internal Medicine: 2016 May;55(10):1261-1268	Original Article
3	Ryobun Yasuoka Takashi Kurita Yasuhiro Kotake et al.	近畿大学医学部 循環器内科	Cardiac memory-induced T wave change during complete atrioventricular block in a patient with inferior acute myocardial infarction	Journal of Cardiology Cases:2016 Nov;14(5):133-135	Case report
4	Hashiguchi N Kurita T, Miyazaki S	近畿大学医学部 循環器内科	Catheter ablation for atrial fibrillation in a patient with unilateral left pulmonary artery agenesis:an enlarged right pulmonary vein caused arrhythmogenicity of atrial fibrillation	europace:2016 Dec;188	Case report
5	Taketomo Y, Noso S, Babaya N, et al.	内分泌・代謝・ 糖尿病内科	Common phenotype and different non-HLA genes in Graves' disease and alopecia areata	Human Immunology	Original Article
6	Minaga K, Kitano M, Imai H, Miyata T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Acute spinal cord infarction after EUS-guided celiac plexus neurolysis	Gastrointest Endosc 83:1039-1040, 2016	Case report
7	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Defect reperfusion imaging with sonazoid®: a breakthrough in hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 5:1-7, 2016	Review
8	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Breakthrough imaging in hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 5:47-54, 2016	Review
9	Kamata K, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Miyata T, Yamao K, Imai H, Sakamoto H, Harwani Y, Chikugo T, Chiba Y, Matsumoto I, Takeyama Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography for differential diagnosis of pancreatic cysts	Endoscopy 48:35-41, 2016	Original Article
10	Inoue T, Hyodo T, Korenaga K, Murakami T, Imai Y, Higaki A, Suda T, Takano T, Miyoshi K, Koda M, Tanaka H, Iijima H, Ochi H, Hirooka M, Numata K, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Kupffer phase image of Sonazoid-enhanced US is useful in predicting a hypervascularization of non-hypervascular hypointense hepatic lesions detected on Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI: A multicenter retrospective study	J Gastroenterol 51:144-152, 2016	Original Article

11	Miyata T, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Kamata K, Imai H, Sakamoto H, Nishida N, Harwani Y, Murakami T, Takeyamas Y, Chiba Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography for assessment of lymph node metastases in pancreaticobiliary carcinoma	World J Gastroenterol 22:3381-3391, 2016	Original Article
12	Kamata K, Kitano M, Yasukawa S, Kudo M, Chiba Y, Ogura T, Higuchi K, Fukutake N, Ashida R, Yamasaki T, Nebiki H, Hirose S, Hoki N, Asada M, Yazumi S, Takaoka M, Okazaki K, Matsuda F, Okabe Y, Yanagisawa A	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Histologic diagnosis of pancreatic masses using 25-gauge endoscopic ultrasound needles with and without a core trap: a multicenter randomized trial	Endoscopy 48:632-638, 2016	Original Article
13	Minaga K, Kitano M, Imai H, Yamao K, Kamata K, Miyata T, Matsuda T, Omoto S, Kadosaka K, Yoshikawa T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Modified single transluminal gateway transcystic multiple drainage technique for a huge infected walled-off pancreatic necrosis: A case report	World J Gastroenterol 22:5132-5136, 2016	Case report
14	Minaga K, Kitano M, Sakamoto H, Miyata T, Imai H, Yamao K, Kamata K, Omoto S, Kadosaka K, Sakurai T, Nishida N, Chiba Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Predictors of pain response in patients undergoing endoscopic ultrasound-guided neurolysis for abdominal pain caused by pancreatic cancer	Ther Adv Gastroenterol 9:483-494, 2016	Original Article
15	Kamata K, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Miyata T, Minaga K, Yamao K, Imai H, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	New endoscopic ultrasonography techniques for pancreaticobiliary diseases	Ultrasonography 35:169-179, 2016	Review
16	Minaga K, Kitano M, Imai H, Yamao K, Kamata K, Miyata T, Omoto S, Kadosaka K, Yoshikawa T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Urgent endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy for acute obstructive suppurative cholangitis-induced sepsis	World J Gastroenterol 22:4264-4269, 2016	Case report
17	Abou-Alfa GK, Puig O, Daniele B, Kudo M, Merle P, Park JW, Ross P, Peron JM, Ebert O, Chan S, Poon TP, Colombo M, Okusaka T, Ryou BY, Minguez B, Tanaka T, Ohtomo T, Ukrainskiy S, Boisserie F, Rutman O, Chen YC, Xu C, Shochat E, Jukofsky L, Reis B, Chen G, Di Lorenzo L, Lee R, Yen CJ	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Randomized Phase II placebo controlled study of codrituzumab in previously treated patients with advanced hepatocellular carcinoma	J Hepatol 65:289-295, 2016	Original Article
18	Imai H, Kitano M, Omoto S, Kadosaka K, Kamata K, Miyata T, Yamao K, Sakamoto H, Harwani Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	EUS-guided gallbladder drainage for rescue treatment of malignant distal biliary obstruction after unsuccessful ERCP	Gastrointest Endosc 84:147-151, 2016	Original Article

19	Takita M, Iwanishi M, Minami T, Kono M, Chishina K, Arizumi T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Monoethanolamine oleate sclerotherapy for polycystic liver disease	Digest Dis 34:654-658, 2016	Original Article
20	Minami Y, Minami T, Chishina H, Kono M, Arizumi T, Takita M, Yada N, Hagiwara S, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	US-US fusion imaging in radiofrequency ablation for liver metastases	Digest Dis 34:687-691, 2016	Original Article
21	Ogawa C, Minami Y, Morita M, Noda A, Arasawa S, Izuta M, Kubo A, Matsunaka T, Tamaki N, Shibatouge M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Prediction of embolization area after conventional transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma using SYNAPSE VINCENT	Digest Dis 34:696-701, 2016	Original Article
22	Yada N, Sakurai T, Minami T, Arizumi T, Takita M, Hagiwara S, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Prospective risk analysis of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C by ultrasound strain elastography	Digest Dis 34:650-653, 2016	Original Article
23	Kawasaki T, Hata K, Kinoshita D, Takayama M, Okuda H, Mizuno S, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Radiofrequency ablation guided by contrast-enhanced sonography versus B-mode sonography for hepatocellular carcinoma after transcatheter arterial chemoembolization	Digest Dis 34:692-695, 2016	Original Article
24	Arizumi T, Ueshima K, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Kono M, Takita M, Kitai S, Inoue T, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Ida H, Sakurai T, Kitano M, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Validation of Kinki criteria, a modified substaging system, in patients with intermediate stage hepatocellular carcinoma	Digest Dis 34:671-678, 2016	Original Article
25	Wu T, Wang P, Zhang T, Zheng J, Li JZ, Zeng J, Kudo M, Zheng R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Comparison of two-dimensional shear wave elastography and real-time tissue elastography for assessing liver fibrosis in chronic hepatitis B	Digest Dis 34:640-649, 2016	Original Article
26	Minaga K, Kitano M, Imai H, Harwani Y, Yamao K, Kamata K, Miyata T, Omoto S, Kadosaka K, Sakurai T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Evaluation of anti-migration properties of biliary covered self-expandable metal stents	World J Gastroenterol 22:6917-6924, 2016	Original Article
27	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Risk of Hepatocellular carcinoma in patients with hepatitis C virus who achieved sustained virological response	Liver Cancer 5:155-161, 2016	Review
28	Makino Y, Imai Y, Igura T, Kogita S, Sawai Y, Fukuda K, Iwamoto T, Okabe J, Takamura M, Fujita N, Hori M, Takehara T, Kudo M, Murakami T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Feasibility of extracted-overlay fusion imaging for intraoperative treatment evaluation of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 5:269-279, 2016	Original Article
29	Minaga K, Kitano M, Enoki E, Kashida H, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Needle-tract seeding on the proximal gastric wall after EUS-guided fine-needle aspiration of a pancreatic mass	Am J Gastroenterol 111:1515, 2016	Original Article

30	Kokudo T, Hasegawa K, Matsuyama Y, Takayama T, Izumi N, Kadoya M, Kudo M, Ku Y, Sakamoto M, Nakashima O, Kaneko S, Kokudo N	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Survival benefit of liver resection for hepatocellular carcinoma associated with portal vein invasion	J Hepatol 65:938-943, 2016.	Original Article
31	Minaga K, Takenaka M, Miyata T, Ueda Y, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Through-the-mesh technique after endoscopic ultrasonography-guided hepaticogastrostomy: a novel re-intervention method	Endoscopy 48: E369-E370, 2016	Case report
32	Minaga K, Kitano M, Yoshikawa T, Omoto S, Kamata K, Yamao K, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Hepaticogastrostomy guided by real-time contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography: a novel technique	Endoscopy 48:E228-229, 2016	Original Article
33	Yamao K, Kitano M, Kayahara T, Ishida E, Yamamoto H, Minaga K, Yamashita Y, Nakajima J, Asada M, Okabe Y, Osaki Y, Chiba Y, Imai H, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Factors predicting through-the-scope gastroduodenal stenting outcomes in patients with gastric outlet obstruction: a large multicenter retrospective study in West Japan	Gastrointest Endosc 84:757-763, 2016	Case report
34	Minaga K, Kitano M, Yamashita Y, Nakatani Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Stent migration into the abdominal cavity after EUS-guided hepaticogastrostomy	Gastrointest Endosc 85:263-264, 2017	Original Article
35	Komeda Y, Kashida H, Sakurai T, Tribonias G, Okamoto K, Kono M, Yamada M, Adachi T, Mine H, Nagai T, Asakuma Y, Hagiwara S, Matsui S, Watanabe T, Kitano M, Chikugo T, Chiba Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Removal of diminutive colorectal polyps: a prospective randomized clinical trial between cold snare polypectomy and hot forceps biopsy	World J Gastroenterol 23:328-335, 2017	Original Article
36	Hyodo T, Yada N, Hori M, Maenishi O, Lamb P, Sasaki K, Onoda M, Kudo M, Mochizuki T, Murakami T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Multimaterial decomposition algorithm for the quantification of liver fat content using fast-kilovolt-peak switching dual-energy CT: experimental validation	Radiology 282:381-389, 2017	Original Article
37	Kono M, Minami Y, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Arizumi T, Komeda Y, Sakurai T, Takita M, Yada N, Ida H, Hagiwara S, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Contrast-enhanced tissue harmonic imaging versus phase inversion harmonic sonographic imaging for the delineation of hepatocellular carcinomas	Oncology 92:29-34, 2017	Original Article
38	Yada N, Sakurai T, Minami T, Arizumi T, Takita M, Hagiwara S, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Influence of liver inflammation on liver stiffness measurement in patients with autoimmune hepatitis evaluation by combinational elastography	Oncology 92:10-15, 2017	Original Article
39	Kamata K, Takenaka M, Kitano M, Omoto S, Miyata T, Minaga K, Yamao K, Imai H, Sakurai T, Watanabe T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Endoscopic ultrasound-guided gallbladder drainage for acute cholecystitis: long-term outcomes after removal of a self-expandable metal stent	World J Gastroenterol 23:661-667, 2017	Original Article
40	Hyodo T, Yada N, Hori M, Maenishi O, Lamb P, Sasaki K, Onoda M, Kudo M, Mochizuki T, Murakami T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Multimaterial decomposition algorithm for the quantification of liver fat content using fast-kilovolt-peak switching dual-energy CT: clinical evaluation	Radiology, 283:108-118, 2017	Original Article

41	Sakurai T, Higashitsuji H, Kashida H, Watanabe T, Komeda Y, Nagai T, Hagiwara S, Kitano M, Nishida N, Abe T, Kiyonari H, Ithoh K, Fujita J, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	The oncoprotein gankyrin promotes the development of colitis-associated cancer through activation of STAT3	Oncotarget, 8:24762-24776, 2017	Original Article
42	Minaga K, Kitano M, Gon C, Yamao K, Imai H, Miyata T, Kamata K, Omoto S, Takenaka M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Endoscopic ultrasonography-guided choledochoduodenostomy using a newly designed laser-cut metal stent: feasibility study in a porcine model	Digest Endosc, 29:211-217, 2017	Original Article
43	Minami Y, Takita M, Tsurusaki M, Yagyu Y, Ueshima K, Murakami T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Semiquantitative prediction of early response of conventional transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma using postprocedural plain cone-beam computed tomography	Hepatology Res, 47:E113-E119, 2017	Original Article
44	Arizumi T, Ueshima K, Iwanishi M, Minami T, Chishina H, Kono M, Takita M, Yada N, Hagiwara S, Minami Y, Ida H, Komeda Y, Takenaka M, Sakurai T, Watanabe T, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	The overall survival of patients with hepatocellular carcinoma correlates with the newly defined time to progression after transarterial chemoembolization	Liver Cancer, 6:227-235, 2017	Original Article
45	Kamata K, Takenaka M, Minaga K, Omoto S, Miyata T, Yamao K, Imai H, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Stent migration during EUS-guided hepaticogastrostomy in a patient with massive ascites: troubleshooting using additional EUS-guided antegrade stenting	Arab J Gastroenterol, S1687-1979:30047-3, 2017	Original Article
46	Kamata K, Takenaka M, Omoto S, Miyata T, Minaga K, Yamao K, Imai H, Sakurai T, Nishida N, Chikugo T, Chiba Y, Matsumoto I, Takeyama Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Impact of avascular areas, as measured by contrast-enhanced harmonic EUS, on the accuracy of fine-needle aspiration for pancreatic adenocarcinoma	Gastrointest Endosc, S0016-5107:32024-2, 2017	Original Article
47	Nishida N, Arizumi T, Hagiwara S, Ida H, Sakurai T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Serum microRNA profile that predict initial effect of sorafenib in patients with advanced hepatocellular carcinoma	Liver Cancer, 6:113-125, 2017	Original Article
48	Kokudo T, Hasegawa K, Matsuyama Y, Takayama T, Izumi N, Kadoya M, Kudo M, Kubo S, Sakamoto M, Nakashima O, Kumada T, Kokudo N, Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Liver resection for hepatocellular carcinoma associated with hepatic vein invasion: a Japanese nationwide survey	Hepatology, 2017	Original Article
49	Kamata K, Takenaka M, Tsurusaki M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Portal vein stenting for portal vein stenosis caused by bile duct cancer	Dig Liver Dis, 2017	Original Article
50	Matsui S, Kashida H, Asakuma Y, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Endoscopic treatment of tracheoesophageal fistula using the over-the-scope-clip system	Ann Gastrol, 2017	Original Article

51	Saigoh Kazumasa, Yoshimura S, Izumikawa T, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Chondroitin sulfate β -1,4-N-acetylgalactosaminyltransferase-1 (ChGN-1) polymorphism; association with progression of multiple sclerosis.	Neurosci Res. 2016; 108:55-59.	Original Article
52	Moriguchi Kouta, Miyamoto K, Tanaka N, et al.	近畿大学医学部 神経内科	C-C chemokine receptor type 4 antagonist Compound 22 ameliorates experimental autoimmune encephalomyelitis.	J Neuroimmunol. 2016; 291: 54-58.	Original Article
53	Hirano Makito, Oka N, Hashiguchi A, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Histopathological features of a patient with Charcot-Marie-Tooth disease type 2U/ AD-CMTax-MARS.	J Peripher Nerv Syst. 2016; 21:370-374	Original Article
54	Samukawa Makoto, Kuwahara M, Morikawa M, et al.	近畿大学医学部 神経内科	of Guillain-Barré syndrome with both Gal-C and ganglioside antibodies; tendency for demyelinating type.	J Neuroimmunol 2016; 301: 61-64.	Original Article
55	Morikawa Miyuki, Kuwahara M, Ueno R, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Serological study using glycoarray for detecting antibodies to glycolipids and glycolipid complexes in immune-mediated neuropathies.	J Neuroimmunol. 2016; 301: 35-40.	Original Article
56	Okazaki Masahiro, Hirano M, Iwatsu T, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Treatable leukoencephalopathy in a patient with hypophosphatemia.	Case Rep Neurol. 2016; 8: 264-271	Original Article
57	Kuwahara Motoi, Samukawa M, Ikeda T, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Characterization of the neurological diseases associated with Mycoplasma pneumoniae infection and anti-glycolipid antibodies.	J Neurol. 2017; 264:467-475	Original Article
58	Moriguchi Kouta, Miyamoto K, Kusunoki S.	近畿大学医学部 神経内科	4-Aminopyridine ameliorates experimental autoimmune neuritis in Lewis rats.	J Neuroimmunol. 2017; 305:72-74.	Original Article
59	Hirano Makito, Matsumura R, Nakamura Y, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Unexpectedly mild phenotype in an ataxic family with a two-base deletion in the APTX gene.	J Neurol Sci. 2017; 378: 75-79.	Original Article
60	Hirano Makito, Yamagishi Y, Yanagimoto S, et al.	近畿大学医学部 神経内科	Time Course of Radiological Imaging and Variable Interindividual Symptoms in Amyotrophic Lateral Sclerosis and Frontotemporal Dementia Associated with p.Arg487His Mutation in the VCP Gene.	Eur Neurol. 2017; 78: 78-83.	Original Article
61	Takeda M, Yamanaka T, Seto T, Hayashi H, et al.	腫瘍内科	Bevacizumab beyond disease progression after first-line treatment with bevacizumab plus chemotherapy in advanced nonsquamous non-small cell lung cancer (West Japan Oncology Group 5910L): An open-label, randomized, phase 2 trial.	Cancer. 122(7)1050-9. 2016.04	Original Article
62	Watanabe S, Takeda M, Takahama T et al.	腫瘍内科	Successful human epidermal growth receptor 2-targeted therapy beyond disease progression for extramammary Paget's disease.	Invest New Drugs. 34(3)394-6. 2016.06	Original Article
63	Watanabe S, Hayashi H, Nakagawa K	腫瘍内科	Is afatinib a treatment option for brain metastases in patients with EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer?	Ann Transl Med. 4(11)225. 2016.06	Original Article

64	Watanabe S, Hayashi H, Okamoto K, et al.	腫瘍内科	Progression-Free and Overall Survival of Patients With ALK Rearrangement-Positive Non-Small Cell Lung Cancer Treated Sequentially With Crizotinib and Alectinib.	Clin Lung Cancer. 17(6)528-534. 2016.11	Original Article
65	Takahama T, Sakai K, Takeda M, et al.	腫瘍内科	Detection of the T790M mutation of EGFR in plasma of advanced non-small cell lung cancer patients with acquired resistance to tyrosine kinase inhibitors (West Japan oncology group 8014LTR study).	Oncotarget. 7(36)58492- 58499. 2016.09	Original Article
66	Ueda H, Hayashi H, Kudo K, et al.	腫瘍内科	Successful treatment with afatinib after gefitinib- and erlotinib-induced hepatotoxicity.	Invest New Drugs. 34(6)797-799. 2016.12	Original Article
67	Tanizaki J, Banno E, Togashi Y, et al.	腫瘍内科	Durable response to afatinib in a patient with lung cancer harboring two uncommon mutations of EGFR and a KRAS mutation.	Lung Cancer. 10111-15. 2016.11	Case report
68	Hayashi H, Nakagawa K.	腫瘍内科	Current evidence in support of the second-generation anaplastic lymphoma kinase (ALK) tyrosine kinase inhibitor alectinib for the treatment of non-small cell lung cancer positive for ALK translocation.	J Thorac Dis. 8(10)E1311- E1316. 2016.10	Original Article
69	Tanizaki J, Hayashi H, Kimura M et al.	腫瘍内科	Report of two cases of pseudoprogression in patients with non-small cell lung cancer treated with nivolumab-including histological analysis of one case after tumor regression.	Lung Cancer. 10244-48 2016.12	Case report
70	Hitomi Sakai, Hidetoshi Hayashi, Tsutomu Iwasa, et al.	腫瘍内科	Successful osimertinib treatment for leptomeningeal carcinomatosis from lung adenocarcinoma with the T790M mutation of EGFR.	ESMO Open. 2(Suppl 1):e000104 2017.03	Case report
71	Nonagase Y, Yonesaka K, Kawakami H, et al.	腫瘍内科	Heregulin-expressing HER2-positive breast and gastric cancer exhibited heterogeneous susceptibility to the anti-HER2 agents lapatinib, trastuzumab and T-DM1.	Oncotarget. 7(51)84860- 84871 2016.12	Original Article
72	Takegawa N, Hayashi H, Iizuka N, et al.	腫瘍内科	Transformation of ALK rearrangement-positive adenocarcinoma to small-cell lung cancer in association with acquired resistance to alectinib.	Ann Oncol. 27(5)953-5. 2016.05	Case report
73	Takeda M, Nakagawa K.	腫瘍内科	Toxicity profile of epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors in patients with epidermal growth factor receptor gene mutation-positive lung cancer.	Mol Clin Oncol. 6(1)3-6. 2017.01	Original Article
74	Junko Tanizaki, Hidetoshi Hayashi, Kazuhiko Nakagawa	腫瘍内科	Estimated risks of recurrence and mortality in lung cancer: comprehensive analysis by a population-based study.	Translational Cancer Research 6(Suppl 1)S39- S41 2017	Original Article
75	Yonesaka K, Hirofumi K, von Pawel J et al.	腫瘍内科	Circulating heregulin level is associated with the efficacy of patritumab combined with erlotinib in patients with non-small cell lung cancer.	Lung Cancer. 1051-6 2017.03	Original Article

76	Mi-Kyeong Kim.,etal	Ajou University Hospital	A Phase 2a Study of Benralizumab for Patients with Eosinophilic Asthma in South Korea and Japan	International Archives of Allergy and Immunology.2016;169:135-145	Original Article
77	Maeda K.,et al	近畿大学医学部	Effect of a postoperative outpatient pulmonary rehabilitation program on physical activity in patients who underwent pulmonary resection for lung cancer	Geriatrics And Gerontology International.2016 ; 16(5):550-555	Case report
78	Higashimoto Y.,et al	近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科	Influence of comorbidities on the efficacy of pulmonary rehabilitation in patients with chronic obstructive pulmonary disease	Geriatrics and Gerontology International.2016;16(8):934-941	Review
79	Tohda Y.,et al	近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科	Improved quality of life in asthma patients under long-term therapy: Assessed by AHQ-Japan	THE INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL PRACTICE.2017;71(1)	Letter
80	谷山 佳弘	腎臓内科	Management of hypertension for patients undergoing dialysis therapy	Renal Replacement Therapy (2016) 2 : 21	Review
81	Matsuoka H, Yoshiuchi K, Koyama A, 他	近畿大学医学部 心療内科部門	Expectation of a Decrease in Pain Affects the Prognosis of Pain in Cancer Patients: a Prospective Cohort Study of Response to Morphine.	International Journal of Behavioral Medicine.2017 Mar;doi:	Original Article
82	Kiyohiro Sakai Hiromichi Matsuoka Yoichi Ohtake 他	近畿大学医学部 心療内科部門	Incidence of carnitine deficiency in patients with cancer pain: A pilot study	Molecular and clinical oncology.2017 Feb; 6: 331-3	Original Article
83	Sakai K, Takeda M, Hayashi H, 他.	近畿大学医学部 心療内科部門	Clinical outcome of node-negative oligometastatic non-small cell lung cancer.	Thorac Cancer.2016 Sep; 6:670-5	Original Article
84	Hiromichi Matsuoka, Hiroyasu Kaneda, Kazuko Sakai,他	近畿大学医学部 心療内科部門	Clinical response to everolimus of EGFR mutation-positive NSCLC with primary resistance to EGFR-TKIs.	Clinical Lung Cancer.2016 Oct;Vol18,No.1: e85-7(オンライン)	Case report
85	Atsuko Koyama Hiromichi Matsuoka YoichiOhtake 他	近畿大学医学部 心療内科部門	Gender differences in cancer-related distress in Japan : a retrospective observation study	BioPsychoSocial Medicine.2016 Apr(オンライン)	Original Article
86	辻井農亜、齊藤卓弥、泉本雄司 他	精神神経科	Experiences with Patient Refusal of Off-Label Prescribing of Psychotropic Medications to Children and Adolescents in Japan.	J Child Adolesc Psychopharmacol. 2016 Sep;26(7):642-5.	Original Article
87	高屋雅彦、渥美正彦、廣瀬智之 他	精神神経科	Cognitive impairment before changes appear on [18F]-fluoro-D-glucose positron emission tomography images in a patient with possible early-stage-cerebellar-predominant multiple system atrophy.	Psychogeriatrics. 2016 May;16(3):216-221	Case report
88	辻井農亜、三川和歌子、辻本江美 他	精神神経科	Relationship between prefrontal hemodynamic responses and quality of life differs between melancholia and non-melancholic depression.	Psychiatry Res. 2016 Jul 30;253:26-35	Original Article
89	Nishi H, Sugimoto K, Fujita S, Miyazaki K, Miyazawa T, Sakata N, Okada M, Takemura T.	Department of Pediatrics, Kindai University Faculty	Effect and therapeutic mechanisms of tonsillectomy for childhood IgA nephropathy.	Nephrology, 17 ; 658-664, 2012	

90	Miyoshi T, Maeno Y, Sago H, Inamura N, Yasukochi S, Kawataki M, Horigome H, Yoda H, Taketazu M, Shozu M, Nii M, Hagiwara A, Kato H, Shimizu W, Shiraishi I, Sakaguchi H, Ueda K, Katsuragi S, Ikeda T, Yamamoto H, Hamasaki T; Japan Fetal Arrhythmia Group.	Department of Perinatology and Gynecology, National Cerebral and Cardiovascular Center (NCVC), Suita, Japan. Department of Pediatrics and Child Health, Kurume University School of Medicine, Kurume, Japan. Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan. Department of Pediatric Cardiology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Izumi, Japan. Department of Cardiology, Nagano Children's Hospital, Azumino, Japan. Department of Neonatology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan. Department of Pediatrics, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan. Department of Neonatology, Toho University Omori Medical Center, Tokyo, Japan. Department of Pediatric Cardiology, Saitama Medical University International Medical Center, Hidaka, Japan. Department of Obstetrics and Gynecology, Chiba University, Chiba, Japan. Department of Cardiology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan. Department of Internal Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan. Department of Pediatric Cardiology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan. Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan. Department of Pediatric Cardiology, NCVC, Suita, Japan. Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University, Tsu, Japan. Center for Advancing Clinical and Translational Sciences, NCVC, Suita, Japan. Department of Data Science, NCVC, Suita, Japan.	Antenatal antiarrhythmic treatment for fetal tachyarrhythmias: a study protocol for prospective multicentre trial	BMJOpen 2017;7:e016597	Original Article
91	Yasuda T, Makino T, Shiraishi O et al.	近畿大学医学部 上部消化管外科	Pedicle posterior pericardial repair of tracheoesophageal fistula after chemoradiotherapy for esophageal cancer.	J Thorac Cardiovasc Surg 2016 Sep ; 151 : 95-97	Original Article
92	Matsumoto I, Takeyama Y, Karnei K, et al.	外科学 肝胆膵部門	Transpancreatic Mattress Suture with Vicryl Mesh Around the Stump During Distal Pancreatectomy: A Novel Technique for Preventing Postoperative Pancreatic Fistula.	J Am Coll Surg 2016 Aug;223(2):e1-5.	Original Article
93	Chiba M, Togashi Y, Tomida S et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	MEK inhibitors against MET-amplified non-small cell lung cancer.	Int J Oncol. 2016 Dec;49(6):2236-2244	Original Article
94	Kobayashi Y, Mitsudomi T	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Not all epidermal growth factor receptor mutations in lung cancer are created equal: Perspectives for individualized treatment strategy.	Cancer Sci. 2016 Sep;107(9):1179-86.	Review
95	Kobayashi Y, Azuma K, Nagai H et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Characterization of EGFR T790M, L792F, and C797S Mutations as Mechanisms of Acquired Resistance to Afatinib in Lung Cancer.	Mol Cancer Ther. 2017 Feb;16(2):357-364.	Original Article
96	Mizuuchi H, Suda K, Murakami I et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Oncogene swap as a novel mechanism of acquired resistance to epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor in lung cancer.	Cancer Sci. 2016 Apr;107(4):461-8	Original Article
97	Mitsudomi T, Kobayashi Y	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Afatinib in lung cancer harboring EGFR mutation in the LUX-Lung trials: six plus three is greater than seven?	Transl Lung Cancer Res. 2016 Aug;5(4):446-9.	Others
98	Sato K, Suda K, Shimizu S et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Clinical, Pathological, and Molecular Features of Lung Adenocarcinomas with AXL Expression.	PLoS One. 2016 Apr 21;11(4):e0154186	Original Article
99	Sesumi Y, Suda K, Mizuuchi H et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Effect of dasatinib on EMT-mediated-mechanism of resistance against EGFR inhibitors in lung cancer cells.	Lung Cancer. 2017 Feb;104:85-90.	Original Article

100	Shimoji M, Shimizu S, Sato K et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Clinical and pathologic features of lung cancer expressing programmed cell death ligand 1 (PD-L1).	Lung Cancer. 2016 Aug;98:69-75.	Original Article
101	Suda K, Murakami I, Sakai K et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Heterogeneity in resistance mechanisms causes shorter duration of epidermal growth factor receptor kinase inhibitor treatment in lung cancer.	Lung Cancer. 2016 Jan;91:36-40.	Original Article
102	Tomizawa K, Nishino M, Sesumi Y et al.	近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門	Prognostic impact of pleural lavage cytology in patients with primary lung cancer.	Lung Cancer. 2016 Dec;102:60-64.	Original Article
103	Kato A, Nakano N, Kishima H, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Less invasive disconnection surgery using advanced image guidance for wide spread cortical malformations	Int J Epilepsy 3(1) 42-42 2016年1月	Others
104	Kato A, Nakano N, Kishima H, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Vagus nerve stimulation - Mechanism of action and usefulness of its combination with corpus callosotomy for palliation of refractory epilepsy	Int J Epilepsy 3(1) 42-43 2016年1月	Others
105	Nakagawa N, Fukawa N, Tsuji K, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Takotsubo cardiomyopathy induced by dopamine infusion after carotid artery stenting.	Int J Cardiol 205 62-64 2016年2月	Case report
106	Tsuji K, Nakagawa N, Fukawa N, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	A novel technique for identifying the fistulous point in a direct carotid-cavernous fistula	J Clin NeuroSci 25 152-156 2016年3月	Original Article
107	Kubota H, Sanada Y, Tanikawa R, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	The use of fibrin and gelatin fixation to repair a kinked internal carotid artery in carotid endarterectomy	Surg Neurol Int 7 S434-S436 2016年6月	Case report
108	Kubota H, Sanada Y, Nagatsuka K, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Safe and accurate sylvian dissection with the use of indocyanine green videoangiography	Surg Neurol Int 7 S427-S429 2016年6月	Original Article
109	Tasaki T, Fujita M, Okuda T, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Overexpression of MET in glioblastoma enhances tumorigenicity of glioma stem cells	AntiCancer Res 36(7) 3571-3577 2016年7月	Original Article
110	Tsuji K, Fukawa N, Nakagawa N, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Transfemoral stenting of stenoses at the common carotid artery origin using an anchoring technique with a balloon protection device	Neurosurgery 79(4) 598-603 2016年10月	Original Article
111	Nakano N, Miyauchi M, Murakami S, et al.	Department of Neurosurgery, Kindai University Faculty of Medicine	Cosmetic procedure for vagus nerve stimulation	Interdisciplinary Neurosurgery 6 1-3 2016年12月	Original Article
112	Kakinoki R, Hashimoto K, Tanaka H, et al.	近畿大学医学部 附属病院	Suspension Arthroplasty Combined with Ligament Reconstruction of the Thumb Carpometacarpal Joint to Salvage Two Failed Arthroplasties: A Case Report	J Orthop Case Rep. 2017 Jan-Feb;7(1):50-53	Case report
113	Nishimura S, Hashimoto K, Tanaka A, et al.	近畿大学医学部 附属病院	Successful treatment with denosumab in a patient with sacral giant cell tumor of bone refractory to combination therapy with arterial embolization and zoledronic acid: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Mar;6(3):307-310	Case report

114	Hashimoto K,Oda Y,Nakamura F,et al.	近畿大学医学部 附属病院	Lectin-like, oxidized low-density lipoprotein receptor-1-deficient mice show resistance to age-related knee osteoarthritis.	Eur J Histochem,2017 Feb 14;61(1):2762	Original Article
115	Tsukamoto I,Akagi M.	近畿大学医学部 附属病院	The Development of a Novel Bone Filler, Titanium Wire Ball.	Acta Med Okayama,2017 Feb;71(1):19-24	Original Article
116	Ikeda T,Miyamoto H,Hashimoto K,et al.	近畿大学医学部 附属病院	Predictable factors of deep venous thrombosis in patients undergoing spine surgery.	J Orthop Sci.2017 Mar;22(2):197-200	Original Article
117	Asada S,Mori S,Inoue S,et al.	近畿大学医学部 附属病院	Location of the ankle center for total knee arthroplasty.	Knee.2017 Jan;24(1):121-127	Original Article
118	Inoue S,Akagi M,Asada S,et al.	近畿大学医学部 附属病院	The Valgus Inclination of the Tibial Component Increases the Risk of Medial Tibial Condylar Fractures in Unicompartamental Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty.2016 Sep;31(9):2025-30	Original Article
119	Hashimoto K,Mori S,Oda Y,et al.	近畿大学医学部 附属病院	Lectin-like oxidized low density lipoprotein receptor 1-deficient mice show resistance to instability-induced osteoarthritis.	Scand J Rheumatol.2016 Oct;45(5):412-22	Original Article
120	Kakinoki R,Ikeguchi R,Matsumoto T,et al.	近畿大学医学部 附属病院	Peripheral nerve storage and allotransplantation using green tea polyphenol in rats-its possibility for clinical application-Review of our works.	Acta Med Kindai Univ.2016 Jul; 41(1):1-8	Review
121	松本長太	近畿大学医学部 眼科学教室	CLOCK CHART®: a novel multi-stimulus self-check visual field screener	Jpn J Ophthalmol59(3): 187-193; 2015	Others
122	河本庄平	近畿大学医学部 眼科学教室	Effects of antiviral medications on herpetic epithelial keratitis in mice	Jpn J Ophthalmol59(3):194-200; 2015	Others
123	長井紀章	近畿大学薬学部医療 薬学科製剤学研究室	Enhanced Production of Nitric Oxide Leads to ATP Collapse in the Retinas of Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty Rats, a Model of Human Diabetes	Curr Eye Res5: 1-11: 2015	Others
124	國吉一樹	近畿大学医学部 眼科学教室	Reduced rod electroretinograms in carrier parents of two Japanese siblings with autosomal recessive retinitis pigmentosa associated with PDE6B gene mutations	Doc Ophthalmol131(1):71-9; 2015	Others
125	Seo T, Shiraishi K, Kobayashi T, et al	Kindai University	Clinical course of persistent geotropic direction-changing positional nystagmus with neutral position-Light cupula.	Acta Otolaryngol. 2016 136: 34-37	Original Article
126	Mandai M, Hamanishi J, Abiko K, et al.	近畿大学産婦人科	Anti-PD-L1/PD-1 immune therapies in ovarian cancer: basic mechanism and future clinical application.	Int J Clin Oncol. 2016 Jun;21(3):456-61.	Original Article
127	Mandai M, Hamanishi J, Abiko K, et al.	近畿大学産婦人科	Dual Faces of IFN γ in Cancer Progression: A Role of PD-L1 Induction in the Determination of Pro- and Antitumor Immunity.	Clin Cancer Res. 2016 May 15;22(10):2329-34.	Original Article
128	Mandai M.	近畿大学産婦人科	PD-1/PD-L1 blockage in cancer treatment-from basic research to clinical application.	Int J Clin Oncol. 2016 Jun;21(3):447.	Review

129	Ukita M, Aoki M, Murakami K, et al.	近畿大学産婦人科	Nontuberculous Mycobacterial Infection in the Uterine Cervix Mimics Invasive Cervical Cancer in Immunocompetent Woman.	Int J Gynecol Pathol. 2016 Mar;35(2):127-33.	Case report
130	Tsuji I, Fujinami N, Kotani Y, et al.	近畿大学産婦人科	Reproductive Outcome of Infertile Patients with Fibroids Based on the Patient and Fibroid Characteristics; Optimal and Personalized Management.	Gynecol Obstet Invest. 2016;81(4):325-32.	Original Article
131	Tobiume T, Kotani Y, Takaya H, et al.	近畿大学産婦人科	Determinant factors of postoperative recurrence of endometriosis: difference between endometrioma and pain.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2016 Oct;205:54-9.	Original Article
132	坂口 健太	高度先端総合医療センター PET分子イメージング部門	Estimation of activity of administered 18F-fluorodeoxyglucose by measurement of the dose equivalent rate on the right temporal region of the head	EJNMMI Physics 2016; 3: 28-36.	Original Article
133	甲斐田 勇人	放射線診断科	The correlation between FDG uptake and biological molecular markers in pancreatic cancer patients.	Eur J Radiol. 2016; 85: 1804-1810	Original Article
134	鶴崎 正勝	高度先端総合医療センター PET分子イメージング部門	Current evidence for the diagnostic value of gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging for liver metastasis.	Hepato Res. 2016;46(9):853-61.	Review
135	祖父江 慶太郎	神戸大学放射線科	Value of Percutaneous Radiologic Gastrostomy for Patients with Advanced Esophageal Cancer.	Ann Surg Oncol. 2016 Oct;23(11):3623-3631.	Original Article
136	渡口 真史	琉球大学放射線科	Utility of Amplatzer Vascular Plug with Preoperative Common Hepatic Artery Embolization for Distal Pancreatectomy with En Bloc Celiac Axis Resection.	Cardiovasc Intervent Radiol. 2017 Mar;40(3):445-449.	Original Article
137	渡口 真史	琉球大学放射線科	Magnetic resonance elastography in the assessment of hepatic fibrosis: a study comparing transient elastography and histological data in the same patients.	Abdom Radiol (NY). 2017 Jun;42(6):1659-1666.	Original Article
138	朝戸 信行	近大奈良病院放射線科	Comparison of gadoxetic acid-enhanced dynamic MR imaging and contrast-enhanced computed tomography for preoperative evaluation of colorectal liver metastases.	Jpn J Radiol. 2017 Apr;35(4):197-205.	Original Article
139	南 康範	消化器内科	Semiquantitative prediction of early response of conventional transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma using postprocedural plain cone-beam computed tomography.	Hepato Res. 2017 Mar;47(3):E113-E119.	Original Article
140	鎌田 研	消化器内科	Portal vein stenting for portal vein stenosis caused by bile duct cancer.	Dig Liver Dis. 2017 Jul 1. pii: S1590-8658(17)30899-X.	Original Article

141	Nishimura Y, Jingu K, Itasaka S et al.	放射線腫瘍学部門	Clinical outcomes of radiotherapy for esophageal cancer between 2004 and 2008: the second survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG).	Int J Clin Oncol. 2016;21(1):88-94.	Original Article
142	Sakai K, Takeda M, Hayashi H et al.	腫瘍内科	Clinical outcome of node-negative oligometastatic non-small cell lung cancer.	Thorac Cancer. 2016;7(6):670-675.	Original Article
143	Tamura M, Monzen H, Kubo K et al.	中央放射線部	Feasibility of tungsten functional paper in electron grid therapy: a Monte Carlo study	Phys Med Biol.2017Feb;62 : 878-889	Original Article
144	Matsuura T, Nishimura Y, Nakamatsu K et al.	放射線腫瘍学部門	Clinical outcomes of IMRT planned with or without PET/CT simulation for patients with pharyngeal cancers.	Int J Clin Oncol. 2017Feb ; 22(1) : 52-58	Original Article
145	Hasei J, Teramura T, Takehara T, Onodera Y, Horii T, Olmer M, Hatada I, Fukuda K, Ozaki T, Lotz MK, Asahara H	岡山大学医学部 整形外科	TWIST1 induces MMP3 expression through up-regulating DNA hydroxymethylation and promotes catabolic responses in human chondrocytes.	Scientific reports	Original Article
146	Obora K, Onodera Y, Takehara T, Frampton J, Hasei J, Ozaki T, Teramura T, Fukuda K	近畿大学医学部 リハビリテーション 医学	Inflammation-induced miRNA-155 inhibits self-renewal of neural stem cells via suppression of CCAAT/enhancer binding protein β (C/EBP β) expression.	Scientific reports	Original Article
147	Kanao K, Shiraishi M, Higashimoto Y, Maeda K, Sugiya R, Okajima S, Chiba Y, Yamagata T, Terada K, Fukuda K, Tohda Y	近畿大学医学部 リハビリテーション 医学	Factors associated with the effect of pulmonary rehabilitation on physical activity in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Geriatrics & gerontology international	Original Article
148	Maeda K, Higashimoto Y, Honda N, Shiraishi M, Hirohata T, Minami K, Iwasaki T, Chiba Y, Yamagata T, Terada K, Matsuo Y, Shuntoh H, Tohda Y, Fukuda K	近畿大学医学部 リハビリテーション 医学	Effect of a postoperative outpatient pulmonary rehabilitation program on physical activity in patients who underwent pulmonary resection for lung cancer.	Geriatrics & gerontology international	Original Article
149	Higashimoto Y, Yamagata T, Maeda K, Honda N, Sano A, Nishiyama O, Sano H, Iwanaga T, Chiba Y, Fukuda K, Tohda Y	近畿大学医学部 呼吸器 アレルギー内科	Influence of comorbidities on the efficacy of pulmonary rehabilitation in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Geriatrics & gerontology international	Original Article
150	Takeda T, Imoto Y, Nagasawa H,他	近畿大学 東洋医学研究所	Stress fracture and premenstrual syndrome in Japanese adolescent athletes: a cross-sectional study.	BMJ open 6(10) e013103 2016年10月	Original Article
151	Takeda T, Ueno T, Uchiyama S,他	近畿大学 東洋医学研究所	Relation between premenstrual syndrome and equol-production status.	The journal of obstetrics and gynaecology research 2016年6月	Original Article

152	Takeda T, Imoto Y, Nagasawa H, 他	近畿大学 東洋医学研究所	Fish Consumption and Premenstrual Syndrome and Dysphoric Disorder in Japanese Collegiate Athletes.	Journal of pediatric and adolescent gynecology 29(4) 386-389 2016年2月	Original Article
153	Takeda T	近畿大学 東洋医学研究所	Additional data to 'Relation between premenstrual syndrome and equal-production status'.	The journal of obstetrics and gynaecology research 2016年8月	Letter
154	田中裕滋、 上裕俊法 他	臨床検査医学	6-Methylsulfinylhexyl isothiocyanate prevents high-fat diet-induced fatty liver but fails to attenuate hepatic iron accumulation in mice.	Clin Exp Pharmacol Physiol.	Others

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。 計154件

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Sakamoto Y, Kokudo N, Matsuyama Y, Sakamoto M, Izumi N, Kadoya M, Kaneko S, Ku Y, Kudo M, Takayama T, Nakashima O, Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Proposal of a new staging system for intrahepatic cholangiocarcinoma: Analysis of surgical patients from a nationwide survey of the Liver Cancer Study Group of Japan	Cancer 122:61-70, 2016	Original Article
2	Kudo M*, Ueshima K, Kubo S, Sakamoto M, Tanaka M, Ikai I, Furuse J, Murakami T, Kadoya M, Kokudo N, Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Response evaluation criteria in cancer of the liver (RECICL)(2015 revised version)	Hepatol Res 46:3-9, 2016	Others
3	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Heterogeneity and subclassification of Barcelona Clinic Liver Cancer Stage B	Liver Cancer 5:91-96, 2016	Review
4	Kudo M, Kanai H	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Inclusion of Journal of Medical Ultrasonics in MEDLINE	J Med Ultrason 43:163, 2016	Others
5	Hagiwara S, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Reply	Hepatology 63:1744-1745, 2016	Letter

6	Geschwind JF, Kudo M, Marrero JA, Venook AP, Chen XP, Bronowicki JP, Dagher L, Furuse J, de Guevara LL, Papandreou C, Sanyal AJ, Takayama T, Ye SL, Yoon SK, Nakajima K, Lehr R, Heldner S, Lencioni R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	TACE treatment in patients with sorafenib-treated unresectable hepatocellular carcinoma in clinical practice: final analysis of GIDEON (Global Investigation of therapeutic DEcisions in hepatocellular carcinoma and Of its treatment with sorafeNib)	Radiology 279:630-640, 2016	Original Article
7	Matsui S, Kashida H, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Gastric perineurioma	Am J Gastroenterol 111:453, 2016	Case report
8	Kitano M, Imai H, Kamata K, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Response	Gastrointest Endosc 83:1303, 2016	Letter
9	Kitai S, Kudo M*, Nishida N, Izumi N, Sakamoto M, Matsuyama Y, Ichida T, Nakashima O, Matsui O, Ku Y, Kokudo N, Makuuchi M, for the Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Survival benefit of locoregional treatment for hepatocellular carcinoma with advanced liver cirrhosis	Liver Cancer 5:175-189, 2016	Original Article
10	Kudo M*, Izumi N, Ichida T, Ku Y, Kokudo N, Sakamoto M, Takayama T, Nakashima O, Matsui O, Matsuyama Y, and the Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Report of the 19th follow-up survey of primary liver cancer in Japan	Hepatol Res 46:372-390, 2016	Original Article
11	Kudo M*, Lencioni R, Marrero JA, Venook AP, Bronowicki JP, Chen XP, Dagher L, Furuse J, Geschwind JFH, Ladrón de Guevara L, Papandreou C, Sanyal AJ, Takayama T, Yoon SK, Nakajima K, Lehr R, Heldner S, Ye SL	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Regional differences in sorafenib-treated patients with hepatocellular carcinoma: GIDEON observational study	Liver Int 36:1196-1205, 2016	Original Article
12	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Chronic Liver diseases and liver cancer: state-of-the art progress in 2016	Digest Dis, 34:617-619, 2016	Review
13	Hagiwara S, Nishida N, Watanabe T, Sakurai T, Ida H, Minami Y, Takita M, Minami T, Iwanishi M, Chishina H, Ueshima K, Komeda Y, Arizumi T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Outcome of asunaprevir/daclatasvir combination therapy for chronic liver disease type C	Digest Dis 34:620-626, 2016	Original Article

14	Nishida N, Kono M, Minami T, Chishina H, Arizumi T, Takita M, Yada N, Ida H, Hagiwara S, Minami Y, Ueshima K, Sakurai T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Safety, tolerability, and efficacy of sofosbuvir plus ribavirin in elderly patients infected with hepatitis C virus genotype 2	Digest Dis 34:632-639, 2016	Original Article
15	Chishina H, Hagiwara S, Nishida N, Ueshima K, Sakurai T, Ida H, Minami Y, Takita M, Kono M, Minami T, Iwanishi M, Umehara Y, Watanabe T, Komeda Y, Arizumi T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Clinical factors predicting the effect of tolvaptan for refractory ascites in patients with decompensated liver cirrhosis	Digest Dis 34:659-664, 2016	Original Article
16	Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Clinical significance of epigenetic alterations in human hepatocellular carcinoma and its association with genetic mutations	Digest Dis 34:708-713, 2016	Original Article
17	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Recent trends in the management of hepatocellular carcinoma with special emphasis on treatment with regorafenib and immune checkpoint inhibitors	Digest Dis 34:714-730, 2016	Review
18	Kim SK, Shin MH, Sugimoto K, Kim SR, Imoto S, Kim KI, Taniguchi M, Oh HK, Yano Y, Hayashi T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Coffee intake and liver enzyme association in Korean immigrants and Japanese: a comprehensive cross-sectional study	Digest Dis 34:665-670, 2016	Original Article
19	Sugimoto K, Kim SK, Kim SR, Kobayashi M, Kato A, Morimoto E, Imoto S, Kim CW, Tanaka Y, Kudo M, Yano Y, Hayashi Y	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Efficacy and safety of sofosbuvir plus ribavirin treatment for patients with chronic hepatitis C genotype 2	Digest Dis 34:627-631, 2016	Original Article
20	Iwamoto T, Imai Y, Kogita S, Igura T, Sawai Y, Fukuda K, Yamaguchi Y, Matsumoto Y, Nakahara M, Morimoto O, Seki Y, Ohashi H, Fujita N, Kudo M, Takehara T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Comparison of contrast-enhanced ultrasound and Gadolinium-Ethoxybenzyl-Diethylenetriamine Pentaacetic Acid-enhanced MRI for the diagnosis of macroscopic type of hepatocellular carcinoma	Digest Dis 34:679-686, 2016	Original Article
21	Nagai T, Arai T, Nishio K, Matsumoto K, Hagiwara S, Sakurai T, Minami Y, Ida H, Ueshima K, Nishida N, Sakai K, Saijo N, Kudo K, Kaneda H, Tamura D, Aomatsu K, Kimura H, Fujita Y, Haji S, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Impact of tight junction protein ZO-1 and TWIST expression on postoperative survival of patients with hepatocellular carcinoma	Digest Dis 34:702-707, 2016	Original Article
22	Ramaswami R, Pinato DJ, Kubota K, Ishizuka M, Arizumi T, Kudo M, Jang JW, Kim YW, Piri M, Allara E, Sharma R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Prognostic sub-classification of intermediate-stage hepatocellular carcinoma: a multicenter cohort study with propensity score analysis	Med Oncol 33:114-121, 2016	Original Article

23	Kudo M*, Izumi N, Sakamoto M, Matsuyama Y, Ichida T, Nakashima O, Matsui O, Ku Y, Kokudo N, Makuuchi M, for the Liver Cancer Study Group of Japan	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Survival analysis over 28 years of 173,378 patients with hepatocellular carcinoma in Japan	Liver Cancer 5:190-197, 2016	Original Article
24	Cheng AL, Thongprasert S, Lim HY, Sukeepaisarnjaroen W, Yang TS, Wu CC, Chao Y, Chan SL, Kudo M, Ikeda M, Kang YK, Pan H, Numata K, Han G, Balsara B, Zhang Y, Rodriguez AM, Zhang Y, Wang Y, Poon RT	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Randomized, open-label phase 2 study comparing frontline dovitinib versus sorafenib in patients with advanced hepatocellular carcinoma	Hepatology 64:774-784, 2016	Original Article
25	Watanabe T, Sadakane Y, Yagama N, Sakurai T, Ezoe H, Kudo M, Chiba T, Strober W	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Nucleotide-binding oligomerization domain 1 acts in concert with the cholecystokinin receptor agonist, cerulein, to induce IL-33-dependent chronic pancreatitis	Mucosal Immunol 9:1234-1249, 2016	Original Article
26	Nishida N, Yada N, Hagiwara S, Sakurai T, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Unique features associated with hepatic oxidative DNA damage and DNA methylation in non-alcoholic fatty liver disease	J Gastroen Hepatol 31:1646-1653, 2016	Original Article
27	Ikeda M, Shimizu S, Sato T, Morimoto M, Kojima Y, Inaba Y, Hagihara A, Kudo M, Nakamori S, Kaneko S, Sugimoto R, Tahara T, Ohmura T, Yasui K, Sato K, Ishii H, Furuse J, Okusaka T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Sorafenib plus hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin versus sorafenib for advanced hepatocellular carcinoma: Randomized phase II trial	Ann Oncol 27: 2090-2096, 2016	Original Article
28	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Regorafenib as second-line systemic therapy may change the treatment strategy and management paradigm for hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 5:235-244, 2016	Review
29	Hagiwara S, Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Reply: Hepatocyte damage due to protoporphyrin deposition	Hepatology 64:306, 2016	Letter
30	Kim SK, Kim SR, Imoto S, Kim CW, Matsuoka T, Nakashima O, Sasaki M, Kumabe T, Kudo M, Fukusato T, Kondo F	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Bile duct adenoma in patient with chronic hepatitis C: As a benign neoplasm by pathological and imaging studies	Pathol Int 66:640-642, 2016	Letter
31	Hagiwara S, Nishida N, Chishina H, Ida H, Sakurai T, Komeda Y, Kitano M, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Cases with refractory ascites and a delayed response to tolvaptan	Intern Med 55:3273-3277, 2016	Case report
32	Kudo M*, Ikeda M, Takayama T, Numata K, Izumi N, Furuse J, Okusaka T, Kadoya M, Yamashita S, Ito Y, Kokudo N	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Safety and efficacy of sorafenib in Japanese patients with hepatocellular carcinoma in clinical practice: a subgroup analysis of GIDEON	J Gastroenterol 51:1150-1160, 2016	Original Article

33	Marrero JA, Kudo M, Venook AP, Ye SL, Bronowicki JP, Chen XP, Dagher L, Furuse J, Geschwind JH, de Guevara LL, Papandreou C, Takayama T, Sanyal AJ, Yoon SK, Nakajima K, Lehr R, Heldner S, Lencioni R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Observational registry of sorafenib use in clinical practice across Child-Pugh subgroups: the GIDEON study	J Hepatol 65:1140-1147, 2016	Original Article
34	Pinato DJ, Arizumi T, Jang JW, Allara E, Suppiah P, Smirne C, Tait P, Pai M, Grossi G, Kim YW, Pirisi M, Kudo M, Sharma R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Combined sequential use of HAP and ART scores to predict survival outcome and treatment failure following chemoembolization in hepatocellular carcinoma: a multi-center comparative study	Oncotarget 7:44705-44718, 2016	Original Article
35	Park JO, Ryoo BY, Yen CJ, Kudo M, Yang L, Abada PB, Cheng R, Orlando M, Zhu AX, Okusaka T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Second-line ramucirumab therapy for advanced hepatocellular carcinoma (REACH): an East Asian and non-East Asian subgroup analysis	Oncotarget 7:75482-75491, 2016	Original Article
36	Kudo M*, Trevisani F, Abou-Alfa GK, Rimassa L	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Hepatocellular carcinoma: therapeutic guidelines and medical treatment	Liver Cancer 6:16-26, 2016	Review
37	Sakurai T, Kashida H, Komeda Y, Nagai T, Hagiwara S, Watanabe T, Kitano M, Nishida N, Fujita J, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Stress response protein RBM3 promotes the development of colitis-associated cancer	Inflamm Bowel Dis 23:66-74, 2017	Original Article
38	Nishida N, Arizumi T, Hagiwara S, Ida H, Sakurai T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	MicroRNAs for the prediction of early response to sorafenib treatment in human hepatocellular carcinoma	Liver Cancer 6:113-125, 2017	Original Article
39	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Immune checkpoint blockade in hepatocellular carcinoma: 2017 update	Liver Cancer 6:1-12, 2017	Review
40	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Molecular targeted agents for hepatocellular carcinoma: current status and future perspectives	Liver Cancer 6:101-112, 2017	Review
41	Bruix J, Qin S, Merle P, Granito A, Huang YH, Bodoky G, Pracht M, Yokosuka O, Rosmorduc O, Breder V, Gerolami, Masi G, Ross P, Song T, Bronowicki JP, Olivier-Hourmand I, Kudo M, Cheng AL, Llovet JM, Finn RS, LeBerre MA, Baumhauer A, Meinhardt G, Han G, on behalf of the RESORCE Investigators	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Regorafenib for patients with hepatocellular carcinoma who progressed on sorafenib treatment (RESORCE): a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial	Lancet 389:56-66, 2017	Original Article
42	Piscaglia F, Kudo M, Han KH, Sirlin C	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Diagnosis of hepatocellular carcinoma with non-invasive imaging: a plea for worldwide adoption of standard and precise terminology for describing enhancement criteria	Ultraschall Med 38:9-11, 2017	Review

43	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Immune checkpoint inhibitors in hepatocellular carcinoma: basics and ongoing clinical trials	Oncology 92:50-62, 2017	Review
44	Kwok WY, Hagiwara S, Nishida N, Watanabe T, Sakurai T, Ida H, Minami Y, Takita M, Minami T, Iwanishi M, Chishina H, Kono M, Ueshima K, Komeda Y, Arizumi T, Enoki E, Nakai T, Kumabe T, Nakashima O, Kondo F, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Malignant transformation of hepatocellular adenoma	Oncology 92:16-28, 2017	Original Article
45	Hagiwara S, Nishida N, Watanabe T, Sakurai T, Ida H, Minami Y, Takita M, Minami T, Iwanishi M, Chishina H, Ueshima K, Komeda Y, Arizumi T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Outcome of combination therapy with sofosbuvir and ledipasvir for chronic type C liver disease	Oncology 92:3-9, 2017	Original Article
46	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	A new horizon in liver disease	Oncology 92:1-2, 2017	Review
47	Nishida N, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Immunological microenvironment of hepatocellular carcinoma and its clinical implication	Oncology 92:40-49, 2017	Original Article
48	Tochio H, Tamaki E, Imai Y, Iwasaki N, Minowa K, Chung H, Suginoishi Y, Inokuma T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	CD68-positive cells in hepatic angiomyolipoma	Oncology 92:35-39, 2017	Original Article
49	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	A new era of systemic therapy for hepatocellular carcinoma with regorafenib and lenvatinib	Liver Cancer 6:177-184, 2017	Review
50	Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Albumin-Bilirubin grade and hepatocellular carcinoma treatment algorithm	Liver Cancer 6:185-188, 2017	Review
51	Pinato DJ, Yen C, Bettinger D, Ramaswami R, Arizumi T, Ward C, Pirisi M, Burlone ME, Thimme R, Kudo M, Sharma R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	The albumin-bilirubin grade improves hepatic reserve estimation post-sorafenib failure: implications for drug development	Aliment Pharm Ther 45:714-722, 2017	Original Article
52	Pinato DJ, Sharma R, Allara E, Yen C, Arizumi T, Kubota K, Bettinger D, Jang JW, Smirne C, Kim YW, Kudo M, Howell J, Ramaswami R, Burlone ME, Guerra V, Thimme R, Ishizuka M, Stebbing J, Pirisi M, Carr BI	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	The ALBI grade provides objective hepatic reserve estimation across each BCLC stage of hepatocellular carcinoma	J Hepatol 66:338-346, 2017	Original Article

53	Hiraoka A, Kumada T, Kudo M, Hirooka M, Tsuji K, Itobayashi E, Kariyama K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Tada T, Toyoda H, Nouse K, Kawasaki H, Hiasa Y, Michitaka K on behalf of the Real-Life Practice Experts for HCC (RELPEC) Study Group and HCC 48 Group	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Albumin-bilirubin (ALBI) grade as part of the evidence-based clinical practice guideline for HCC of the Japan Society of Hepatology: a comparison with the liver damage and Child-Pugh classifications	Liver Cancer 6:204-215, 2017	Original Article
54	Kudo M*, Moriguchi M, Numata K, Hidaka H, Tanaka H, Ikeda M, Kawazoe S, Ohkawa S, Sato Y, Kaneko S, Furuse J, Takeuchi M, Fang X, Date Y, Takeuchi M, Okusaka T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	S-1 versus placebo in patients with sorafenib-refractory advanced hepatocellular carcinoma (S-CUBE): a randomised, double-blind, multicentre, phase 3 trial	Lancet Gastroenterol Hepatol, 2:407-417, 2017	Original Article
55	Watanabe T, Yamashita K, Arai Y, Minaga K, Kamata K, Nagai T, Komeda Y, Takenaka M, Hagiwara S, Ida H, Sakurai T, Nishida N, Strober W, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Chronic fibro-inflammatory responses in autoimmune pancreatitis depend on IFN- α and IL-33 produced by plasmacytoid dendritic cells	J Immunol, 198:3886-3896, 2017	Original Article
56	Nishie A, Goshima S, Haradome H, Hatano E, Imai Y, Kudo M, Matsuda M, Motosugi U, Saito S, Yoshimitsu K, Crawford B, Kruger E, Ball G, Honda H	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Cost-effectiveness of EOB-MRI for hepatocellular carcinoma in Japan	Clin Ther, 39:738-750, 2017	Original Article
57	Ikeda K, Kudo M, Kawazoe S, Osaki Y, Ikeda M, Okusaka T, Tamai T, Suzuki T, Hisai T, Hayato S, Okita K, Kumada H	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Phase 2 Study of Lenvatinib in patients with advanced hepatocellular carcinoma	J Gastroenterol, 52:512-519, 2017	Original Article
58	Kudo M*, Hatano E, Ohkawa S, Fujii H, Masumoto A, Furuse J, Wada Y, Ishii H, Obi S, Kaneko S, Kawazoe S, Yokosuka O, Ikeda M, Ukai K, Morita S, Tsuji A, Kudo T, Shimada M, Osaki Y, Tateishi R, Sugiyama G, Abada PB, Yang L, Okusaka T, Zhu AX	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Ramucirumab as second-line treatment in patients with advanced hepatocellular carcinoma: Japanese subgroup analysis of the REACH trial	J Gastroenterol, 52:494-503, 2017	Original Article
59	Howell J, Pinato DJ, Ramaswami R, Bettinger D, Arizumi T, Ferrari C, Yen C, Gibbin A, Burlone ME, Guaschino G, Sellers L, Black J, Pirisi M, Kudo M, Thimme R, Park JW, Sharma R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	On-target sorafenib toxicity predicts improved survival in hepatocellular carcinoma: a multi-centre, prospective study	Aliment Pharmacol Ther. 45:1146-1155, 2017	Original Article

60	Ikeda M, Shimizu S, Sato T, Morimoto M, Kojima Y, Inaba Y, Hagihara A, Kudo M, Nakamori S, Kaneko S, Sugimoto R, Tahara T, Ohmura T, Yasui K, Sato K, Ishii H, Furuse J, Okusaka T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Reply to the Letter to the editor 'Sorafenib plus hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin versus Sorafenib for advanced hepatocellular carcinoma: randomized phase II trial' by Fornaro et al	Ann Oncol, 28:903-904, 2017	Letter
61	Watanabe T, Kudo M, Strober W	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Immunopathogenesis of pancreatitis	Mucosal Immunol, 10:283-298, 2017	Review
62	Watanabe T, Yamashita K, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	IgG4-related disease and innate immunity	Curr Top Microbiol Immunol, 401:115-128, 2017	Review
63	Lencioni R, Montal R, Torres F, Park JW, Decaens T, Raoul JL, Kudo M, Chang C, Rios J, Boige V, Assenat E, Kang YK, Lim HY, Walters I, Llovet JM	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Objective response by mRECIST as a predictor and potential surrogate end-point of overall survival in advanced HCC	J Hepatol, 66:1166-1172, 2017	Original Article
64	Toguchi M, Tsurusaki M, Yada N, Sofue K, Hyodo T, Onoda M, Numoto I, Matsuki M, Imaoka I, Kudo M, Murakami T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Magnetic resonance elastography in the assessment of hepatic fibrosis: a study comparing transient elastography and histological data in the same patients	Abdom Radiol, 42:1659-1666, 2017	Original Article
65	Pinato DJ, Ramaswami R, Arizumi T, Ferrari C, Gibbin A, Burlone M, Guaschino G, Tonitto P, Black J, Sellers L, Kudo M, Pirisi M, Sharma R	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Integration of the cancer-related inflammatory response as a stratifying biomarker of survival in hepatocellular carcinoma treated with sorafenib	Oncotarget, 8:36161-36170, 2017	Original Article
66	El-Khoueiry AB, Sangro B, Yau T, Crocenzi TS, Kudo M, Hsu C, Kim TY, Choo SP, Trojan J, Welling TH, Meyer T, Kang YK, Yeo W, Chopra A, Anderson J, dela Cruz C, Lang L, Neely J, Tang H, Dastani HB, Melero I	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Nivolumab in patients with advanced hepatocellular carcinoma (CheckMate040): an open-label, non-comparative, phase 1/2 dose escalation and expansion trial	Lancet, S0140-6736: 31046-2, 2017	Original Article
67	Banno E, Togashi Y, de Velasco MA, Mizukami T, Nakamura Y, Terashima M, Sakai K, Fujita Y, Kamata K, Kitano M, Kudo M, Nishio K	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Clinical significance of Akt2 in advanced pancreatic cancer treated with erlotinib	Int J Oncol, 50:2049-2058, 2017	Original Article
68	Komeda Y, Kashida H, Sakurai T, Kono M, Nagai T, Asakuma Y, Hagiwara S, Matsui S, Watanabe T, Chikugo T, Kudo M	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	A case of type II enteropathy-associated T-Cell lymphoma in a patient with ulcerative colitis	Am J Gastroenterol, 112:833, 2017	Case report

69	Imoto M, Yoshida K, Maeda Y, Nakae KI, Kudo M, Sakurabayashi I, Yamada T, Kamisako T	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	A case of waldenstrom macroglobulinemia with temporary appearance of 7S IgM half molecule	Clin Lab, 63:983-989, 2017	Case report
70	Chau I, Peck-Radosavljevic M, Borg C, Malfertheiner P, Seitz JF, Park JO, Ryoo BY, Yen CJ, Kudo M, Poon R, Pastorelli D, Blanc JF, Chung HC, Baron AD, Okusaka T, Bowman L, Cui ZL, Girvan AC, Abada PB, Yang L, Zhu AX	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Ramucirumab as second-line treatment in patients with advanced hepatocellular carcinoma following first-line therapy with sorafenib: patient-focused outcome results from the randomised phase III REACH study	Eur J Cancer, 81:17-25, 2017	Original Article
71	Omata M, Cheng AL, Kokudo N, Kudo M, Lee JM, Jia J, Tateishi R, Han KH, Chawla YK, Shiina S, Jafri W, Payawal DA, Ohki T, Ogasawara S, Chen PJ, Lesmana CRA, Lesmana LA, Gani RA, Obi S, Dokmeci AK, Sarin SK	Dept. Gastroenterology and Hepatology Kinki University School of Medicine	Asia-Pacific clinical practice guidelines on the management of hepatocellular carcinoma: a 2017 update	Hepatol Int, 2017 2017	Others
72	鈴木秀和	近畿大学医学部 神経内科	運動性失語にて発症した抗N-methyl-D aspartate receptor (NMDAR) 脳炎の一例.	大阪てんかん研究会雑誌 27 : 23-28, 2016	Original Article
73	松岡弘道	近畿大学医学部 心療内科部門	多施設共同ランダム化比較試験がもたらす心身医学の未来	心身医学・2017年5月 第57巻 第5号 : 436-440	Original Article
74	松岡弘道	近畿大学医学部 心療内科部門	医療者の内面を医療者自身が知ることの意義～自分の気持ちの動きを如何に臨床に応用するか～	日本心療内科学会誌・2017年3月 Vol.21, No.2 : 49-52	Original Article
75	松岡弘道	近畿大学医学部 心療内科部門	心身医学を専門とするわれわれが意識できる疼痛緩和	心身医学・2017年2月 第57巻 第2号 : 124-137	Original Article
76	奥見裕邦	近畿大学医学部 心療内科部門	心窩部痛を伴うFD患者の消化器症状に対する安中散の効果	Science of kampo medicine・2017年41巻 第1号 : 43-46	Original Article
77	羽多野裕	近畿大学医学部附属病院 がんセンター 緩和ケアセンター	療養場所がquality of death and dyingと遺族の健康に及ぼす影響に関する研究	遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する研究 2016(J-HOPE2016) 調査研究報告書・ 2017年 : 32-44	Original Article
78	阪本亮、 奥見裕邦、 小山敦子	近畿大学医学部 心療内科部門	複数の身体症状を訴えた症例に心身医学的治療と随症治療を併用し奏功した1例	日本東洋心身医学研究 2016年12月 第31巻 : 40-44	Case report
79	澤井 利夫	小児外科	A Nobel Approach to Neonatal Abdominal Surgery via a Circular Incision around the Umbilical Cord	Pediatric Surgery International: 2016, Vol32, 1009-1011	Original Article

80	Kawamura J,	外科講師	The use of transureteroureterostomy during ureteral reconstruction for advanced primary or recurrent pelvic malignancy in the era of multimodal therapy.	Int J Colorectal Dis.2017 Jan;32(1):135-138	Original Article
81	Kawamura J,	外科講師	Successful laparoscopic treatment of a giant solitary fibrous tumor of the mesorectum: A case report and literature review.	Asian J Endosc Surg. 2017 Feb;10(1):51-54.	Case report
82	Kawamura J,	外科講師	M. Clinical efficacy of liver resection after downsizing systemic chemotherapy for initially unresectable liver metastases.	World J Surg Oncol.2016.25;14(1):56	Original Article
83	大磯直毅	近畿大学医学部 皮膚科	Vitiligo and remarkable freckles in chronic graft-versus-host disease	Eur J Dermatol 26 (1): 91-2, 2016	Case report
84	大磯直毅	近畿大学医学部 皮膚科	Blaschcolinear lichen nitidus	Eur J Dermatol 26 (1): 100-1, 2016	Case report
85	成田智彦	近畿大学医学部 皮膚科	Serological aggravation of autoimmune thyroid disease in two cases receiving nivolumab	J Dermatol 43 (2): 210-4, 2016	Case report
86	北浦 淳寛	麻酔科	食道がん一期的根治術中に弓部大動脈損傷を来し胸部大動脈ステントグラフト内挿術に移行した1症例	麻酔;2016 65(2):157-159	Case report
87	岩元 辰篤	麻酔科	帝王切開術後に急性妊娠脂肪肝を来した1症例	ICU と CCU 2016;40: 497-501	Case report
88	岩元 辰篤	麻酔科	周術期の血糖管理の重要性 (誌上抄読会)	臨床麻酔 2016; 40: 1549-1553	Others
89	上原 圭司	麻酔科	Tuohy針先端処理の違いによる合併症低減の可能性	日本ペインクリニック学会誌 2016 ; 23(4) : 516-519	Original Article
90	古垣内美智子、上 碓俊法 他	臨床検査医学	MALDI-TOF MS 2機種とVITEK 2の nutritionally variant streptococciの同定精度の比較検討と同定に重要な生化学性状の検討	日本臨床微生物雑誌	Others

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

計90件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言の倫理的原則に則り、近畿大学医学部、同附属病院、同堺病院、同奈良病院及び大阪狭山キャンパス内の各研究所、各センター等（以下「医学部等」という）で行われる人を対象とした医学系研究及び医療行為が、科学的合理性及び倫理的配慮のもとに行われることを目的として、委員会審査における運営に関する手順を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、利益相反マネジメントの対象者、対象事象について、他	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 医学系研究倫理指針が求める補償責任に対する臨床研究保険 H28. 7. 14 医学系研究倫理指針が求める補償責任に対する臨床研究保険 (DVD研修) H28. 9. 14 モニタリングって何? ~人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に対応したモニタリングの基本 H28. 11. 9	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

近畿大学医学部附属病院における認定医・専門医育成プログラムでは、内科、外科、その他の専門家の認定医・専門医取得を第一目標に定めている。それと同時に2年間お卒後臨床研修で最終目標に定め習得していたプライマリ・ケアの幅と奥行きを深めるために多くの関連病院での研修も含めたカリキュラムを用意している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	128.50 人
-------------	----------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮崎 俊一	循環器内科	教授	37年	
池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	教授	35年	
工藤 正俊	消化器内科	教授	38年	
松村 到	血液・膠原病内科(血液)	教授	32年	
船内 正憲	血液・膠原病内科(膠原病)	教授	36年	
楠 進	神経内科	教授	38年	
中川 和彦	腫瘍内科	教授	33年	
小山 敦子	心療内科	教授	32年	
東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	教授	36年	
有馬 秀二	腎臓内科	教授	25年	
白川 治	メンタルヘルス科	教授	36年	
竹村 司	小児科	教授	34年	
奥野 清隆	外科	教授	39年	
加藤 天美	脳神経外科	教授	37年	
佐賀 俊彦	心臓血管外科	教授	38年	
赤木 将男	整形外科	教授	33年	
福田 寛二	リハビリテーション科	教授	35年	
川田 暁	皮膚科	教授	37年	
磯貝 典孝	形成外科	教授	34年	
植村 天受	泌尿器科	教授	33年	
下村 嘉一	眼科	教授	39年	
土井 勝美	耳鼻咽喉科	教授	35年	
万代 昌紀	産婦人科	教授	32年	
西村 恭昌	放射線科・放射線腫瘍学部門 (放射線治療科)	教授	35年	
村上 卓道	放射線科診断学部門	教授	30年	
中尾 慎一	麻酔科	教授	35年	
上裕 俊法	臨床検査医学	教授	31年	
平出 敦	救命救急センター(ER)	教授	35年	
北澤 康秀	救命救急センター	教授	37年	

大槻 俊輔	脳卒中センター	教授	30年
佐藤 隆夫	病院病理部	教授	35年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p> <p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">① TeamSTEPS (米国AHRQと国防総省との合同研究企画の結果生まれたチームの新しい活動の考え方・あり方の概要で、特にストレスの高い状況下で治療や看護を行う医療提供者によるチーム活動の進め方とトレーニング方法) 研修を全職員対象で実施。② CV/PICCカテーテル研修を新人医師、新規採用医師に対し定期的に施行。CVライセンス発効後実務可能としている。③ 医療機器研修を看護師・臨床工学技士対象で実施。④ 看護師対象研修 (別紙①参照) <p>・研修の期間・実施回数</p> <ul style="list-style-type: none">① 定期的に開催しており、全51回の研修を開催した (平成29年8月26日現在)。平成28年度は7回開催。全職員終了まで継続予定。② 平成28年度は4回開催。③ 平成28年度は260回開催。④ 看護師対象研修 (別紙①参照) <p>・研修の参加人数</p> <ul style="list-style-type: none">① 約3,500人が参加 (平成29年8月26日現在)。平成28年度は412人 (1回平均約60人) が参加。② 平成28年度は56人が参加③ 平成28年度は7,855人が参加④ 平成28年度は2,910人が参加
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p> <p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">1. 放射線科医師、医学物理士、診療放射線技師、看護師による合同の放射線治療症例検討会の実施2. 医学物理士、診療放射線技師、看護師による始業前ミーティングの実施3. 医学物理士、診療放射線技師による高精度放射線治療機器のQA, QCの実施結果の報告、研修の実施4. 放射線科医師、医学物理士、診療放射線技師、看護師による放射線治療における連絡会議の実施 <p>・研修の期間・実施回数</p> <ul style="list-style-type: none">1. 1回/週2. 1回/日3. 1回/週4. 1回/2ヵ月

・研修の参加人数

1. 18名
2. 10名
3. 3～5名)
4. 8名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

- ① TeamSTEPPS研修で他施設参加者の受入。
- ② 南大阪地域内での医療安全情報共有を目的とし、南大阪医療安全ネットワークを設立。会員施設対象に定期的に研修会を開催。

・研修の期間・実施回数

- ① 定期的で開催しており、全51回の研修を開催した（平成29年8月26日現在）。平成28年度は7回開催。
- ② 平成28年度は年間5回開催。

・研修の参加人数

- ① 平成28年度は他施設より41人（1回平均約6人）が参加。
- ② 毎回平均約90人が参加。

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 東田 有智
管理担当者氏名	医学部・病院事務局長 狩谷 和志

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務広報課	
		各科診療日誌	電子カルテ端末	
		処方せん	電子カルテ端末	
		手術記録	電子カルテ端末	
		看護記録	電子カルテ端末	
		検査所見記録	電子カルテ端末	
		エックス線写真	電子カルテ端末	
		紹介状	電子カルテ端末	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	電子カルテ端末	
			書類・データにて管理 電子カルテ端末で管理 原則として診療録の原本の院外持出は禁止している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務広報課	
		高度の医療の提供の実績	医療支援課 学術支援課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術支援課 総務広報課	
		高度の医療の研修の実績	医学教育研修課	
		閲覧実績	安全対策課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域連携課	
				書類・データにて管理 電子カルテ端末 (Human Bridge) で管理
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	調剤数の帳簿は薬剤部 入院患者数・外来患者数は医事課
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況			医療安全対策室	
			書類・データにて管理	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	施設用度課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	部門システム内 (ME機器管理システム)
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室(一部) 部門システム内 (ME機器管理システム)
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器ホームページ内		
		書類・データにて管理	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全対策室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全対策室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全対策室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全対策室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全対策室
		監査委員会の設置状況	総務広報課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全対策室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全対策室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全対策課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	安全対策課
職員研修の実施状況	医療安全対策室		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全対策室		
			書類・データにて管理

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 東田 有智	
閲覧担当者氏名	医学部・病院事務局 事務局長 狩谷 和志	
閲覧の求めに応じる場所	病院棟2階相談室閲覧室	
閲覧の手続の概要 患者支援センターもしくは安全対策課にて関係部署と調整し対応している。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無
<p>・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 高難度新規医療技術等 10. 患者相談窓口 11. その他</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (①・無) ・ 開催状況：年27回 ・ 活動の主な内容： 1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関する事 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関する事 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関する事 4. 医療安全管理のために行う病院長等に対する提言に関する事 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関する事 6. 医療訴訟に関する事 7. その他医療安全に関する事</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年41回
<p>・ 研修の主な内容： 1. 医療安全事始 2. 中心静脈穿刺手技講習会 3. ダブルチェックから医療を考える 4. 医療事故-謝罪とその方法- 5. 医療ガス・フィットフィックス 6. 認知症高齢者への接し方 7. 危機管理広報の視点から見る医療事故 8. 事故発生後の対応 9. 病院はほんとうに安全なのか (Rapid Response System) について 10. 褥瘡対策室/薬剤部 11. 中央放射線部における医療安全への取り組み 12. 医療安全とワーク・ライフ・バランス 13. 中央臨床検査部/輸血・細胞治療センター/臨床工学部 14. 安全管理DVD研修</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知するとともに、院内LANに掲載し周知を図り、改善策の徹底を図っている。また、安全管理研修参加状況の個人識別化を実施している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 近畿大学医学部附属病院の院内肝炎防止対策に関する基本的考え方2. 院内感染防止対策の組織の概要3. 感染防止対策に関する職員研修4. 院内感染症アウトブレイク時の対応5. 感染症情報の院内への提供と広報6. 患者等への情報提供と説明7. 地域連携8. 院外への情報公開9. その他の院内感染防止対策	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染防止対策に関する重要事項の決定を行う2. 院内感染防止対策指針およびマニュアルを検討し、承認・周知する3. 院内感染防止対策に関する情報を共有し職員へ周知する4. 院内感染防止に関する職員研修計画を検討し周知する5. 院内感染事例等の原因究明結果を報告し、対策を職員に周知する	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年12回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新規採用時の研修は、感染対策の基礎、感染症診療の基本についてのセミナーを開催した。 定期研修では、インフルエンザや食中毒などの研修会開催時期に合わせた季節の感染対策および外部から招聘した感染対策の専門家による講演会を実施した。 また、一部の研修会は、病院環境に対する感染対策、職業感染対策など掃除業者やリネン業者にも理解しやすい内容として開催した。全職員が興味を持てる内容とするため、研修会講師はICTチームの医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師が担当した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>定期、および臨時のICTラウンド、ICTニュース、院内感染防止対策委員会、各ICTメンバーの参加している委員会、研修などを通じ、院内感染発症防止、院内感染対策の情報を発信して、啓発を繰り返している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8回
<p>・ 研修の主な内容： H28.4月 特別な管理を要する薬品の取り扱いについて（新人看護職員研修） H28.5月19日 薬剤管理と医療安全について（研修医対象） H28.6月23日 循環器内科の薬剤管理指導について（循環器病棟看護師対象） H28.7月12日 NICUスクリーンベンチ取扱い講習会（看護師対象） H28.8月12,19日 ステロイド薬について（看護師対象） H28.11月25日 静脈注射院内認定看護師育成研修（看護師対象） H28.12月14日 平成28年度第14回安全管理研修-医薬品と医療安全（全職員対象） その他、薬剤部内研修会を32回開催</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (①・無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、医薬品の安全に係る情報の取り扱い（収集、提供）、各部門における薬剤の取り扱い（手術・麻酔、救急・集中治療室、血液透析関連、画像診断、内視鏡、臨床検査、歯科領域、輸血）、他施設との連携、事故発生時の対応、教育・研修、未承認等医薬品への対応</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ハイリスク薬（特に危険な薬剤）などの処方実績を毎月集計し、使用状況を確認している。処方内容に問題がある場合はカルテにて実施状況を確認する。処方内容に問題がある場合、電子カルテのメール機能を使い、処方医に対し注意喚起を行っている。このメール機能は、メールを開封しない限り画面上にメール通知が表示され続ける。 対象薬剤：高濃度カリウム製剤、プロポフォール</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年260回
・ 研修の主な内容： 特定7品目および新規導入機器 その他、デモ機や在宅機器に関する研修を臨時で開催	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： ・ 特定7品目 ・ 輸液・シリンジポンプ/心電計/体外式ペースメーカーなど	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ PMDAからの情報を「医療機器」ホームページに集約し、情報を一元化している。 ・ その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・ 部署管理機器を中央管理化へ移行し、2か月毎に保守が行われた機器を提供できる機種を増やしている。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	①・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者には安全管理部長（副病院長）を配置。安全管理委員会においては、委員長を安全管理部長として、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者を委員として任命している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	②（5名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品検索システム MDview を使用している。また、薬事委員会資料・添付文書情報・勉強会案内など薬剤情報室が入手した全情報は、電子媒体資料にして薬剤部内ネットワークに存在する共有フォルダに保管管理している。薬事委員には、薬事委員会資料・添付文書情報・削除薬品の在庫状況・新規採用薬品のオーダー開始日など随時メールで配信している。また、医薬品の採用・削除に関しては、電子カルテのお知らせ機能を利用して配信している。</p> <p>緊急安全性情報・安全性情報に関しては、富士通の電子カルテのポータル「掲示板/お知らせ」と、MDview に掲示している。薬剤部員にはメール配信し、看護部・病棟・外来など関係全部署には配布を行っている。各部署の薬事委員にはメールを配信し、「緊急安全性情報（安全性速報）の周知徹底について（お願い）」とともに各科薬事委員に紙面の配布を行い、薬事委員は速やかに医局内へ情報の周知徹底を実施し、伝達方法を記入し署名後、薬剤情報室に返却するように徹底している。提出期限は、配布日から 2 週間以内である。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適応外使用について、臨床現場での使用については特別な把握手段はなく、当院でも把握は難しい状況である。ただし、臨床研究における未承認および適応外使用の場合には、院内の倫理委員会に責任医師から申請して頂き、承認を得て頂く運用となっている。緊急時に使用する薬剤の適応外使用についても、許可制など特別な承認方法は、設定されていない状況である。</p> <p>疾患禁忌について、登録された病名に禁忌となる薬剤を医師が処方しようとする電子カルテ（富士通株）に警告が表示される。なお、エラーではなく、ワーニングのため処方を確認することは可能である。システムとしては、電子カルテに MDbank（株ユヤマ）を連携させて処方チェック機能が作動するように設定されている。</p> <p>薬剤禁忌については、電子カルテで医師が薬剤を処方しようとする、電子カルテに警告が表示される。ただし、これもエラーではなく、ワーニングのため、処方を確認することは可能である。システムとしては、電子カルテに MDbank を連携させて処方チェック機能が作動するように設定されている。その後、処方された薬剤は薬剤部でチェックをかけ、必要に応じ薬剤師が問い合わせしている。</p> <p>・担当者の指名の有無（①・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p>	

(所属：安全管理部，職種 薬剤師)	(所属： ， 職種)
(所属：薬剤部，職種 薬剤師)	(所属： ， 職種)
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)
(所属： ， 職種)	(所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況 (有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ((有)・無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

インフォームドコンセントの定義（インフォームドコンセントマニュアルより）
 インフォームドコンセントとは、「医療者側からの十分な説明」に基づく「患者側の理解・納得・同意・選択」です。あくまで患者側が主体であり、医療者が患者側から取得するもの、もしくは患者側が医療者に与えるものであって、医師が患者に説明するだけではありません。つまり、インフォームドコンセントとは、チーム医療の実践の中で、患者ひとりひとりに最良の治療が行われるように、医師が患者の立場に立って診療目的と治療方針、治療効果や予後等について事前に十分な説明を行い、患者が十分な時間を以って説明内容をよく理解し、納得した上で得られた選択と同意です。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 (有)・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

当院の診療録の確認は、カルテの質向上委員会と医療支援課が共同で、3段階監査を始め、6年目となる。詳細は割愛するものの、診療科内の相互監査、他科医師の監査、診療情報管理士の監査を継続的に行い、その結果を実名で院内報告し、医局へもフィードバックする事で、画期的な上昇を認めている。全体の管理責任者は、安全管理部・辰巳教授である。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況 (有)・無

・所属職員：専従 (4) 名、専任 () 名、兼任 (9) 名
 うち医師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (4) 名
 うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 () 名
 うち看護師：専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 () 名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に報告する
2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査
3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検
4. マニュアルの作成および点検並びに見直しの提言等
5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価
6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知

- 7. 医療安全に関する職員への啓発、広報
- 8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、提案

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有) ・無)
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有) ・無)
- ・活動の主な内容：

臨床倫理委員会規程をもとに、臨床倫理委員会を設置。

臨床倫理委員会規程より

本規定は、近畿大学医学部附属病院における医療行為等（医療行為に準じ又は附随する行為を含み、以下、本規定において同じ）に関し、臨床上の倫理的問題を含む事案について、わが国の法令やその他の規範を遵守しつつ十分な審議検討を行うことで、当院の方針とともに、その安全性維持の施策について明示するとともに、その安全性を継続して担保することを目的とする。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有) ・無)
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有) ・無)

臨床倫理委員会で実施している。

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有) ・無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有) ・無)
- ・活動の主な内容：

臨床倫理委員会規程をもとに、臨床倫理委員会を設置。

臨床倫理委員会規程より

本規定は、近畿大学医学部附属病院における医療行為等（医療行為に準じ又は附随する行為を含み、以下、本規定において同じ）に関し、臨床上の倫理的問題を含む事案について、わが国の法令やその他の規範を遵守しつつ十分な審議検討を行うことで、当院の方針とともに、その安全性維持の施策について明示するとともに、その安全性を継続して担保することを目的とする。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有) ・無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有) ・無)

臨床倫理委員会で実施している。

⑨ 監査委員会の設置状況

①・無

・ 監査委員会の開催状況：年2回

・ 活動の主な内容：

監査委員会規程をもとに、監査委員会を設置。

監査委員会規程より

この規程は、近畿大学医学部附属病院（以下「附属病院」という。）が、特定機能病院として高度な医療安全管理体制を構築し、安心・安全な医療を提供するため、医療の質にかかる医療統治、医療安全管理の取り組み等の状況に関する監査機関として、近畿大学医学部附属病院 監査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ①・無 ）

・ 委員名簿の公表の有無（ ①・無 ）

・ 委員の選定理由の公表の有無（ ①・無 ）

・ 公表の方法：

近畿大学医学部附属病院 ホームページにて公表

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を 付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
水本 一弘	和歌山県立医科大学 医療安全推進部 病院教授 麻酔科准教授	○	同医科大学において医療安全部門に就いており、医療安全に精通していることから適任と判断したもの	有・無	1
山口 育子	NPO 法人ささえ あい医療法人 人権センター COML 理事長		医療事故調査支援センターの運営委員等の職にも就かれ医療安全に精通していることから適任と判断したもの	有・無	2
小島 崇宏	大阪 A&M 法律事務所 医師・弁護士		医師として医療機関での職歴もあり、法律学に関する専門知識も有することから適任と判断したもの	有・無	1
川田 暁	近畿大学医学部 附属看護専門学校 校長 近畿大学医学部 附属病院 皮膚科 主任教授		看護専門学校長と検診し医療人育成機関の長として職務に当たっており適任と判断したもの	①・無	3
諸富 公昭	近畿大学医学部		当院のリスクマネージャー	①・無	3

	附属病院 形成 外科 准教授		の経験もあり、医療安全に 関する情報共有の行ってい ることから、適任と判断し たもの		
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

<p>⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 467 件 (平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 8 月 31 日までで 467 件) ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 118 件 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日の医師のアクシデント (3b~4b) 入力件数：118 件) ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 安全管理委員会は、医療行為における事故を未然に防止し、安全管理に関する諸問題を具体的に検討し、適切な対策を講じ医療の安全性の向上を図ることを目的とする。 原則として月 1 回開催し、以下の事項について審議する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること 4. 医療安全管理のために行う病院長等に対する提言に関すること 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6. 医療訴訟に関すること 7. その他医療安全に関すること その他、必要に応じて委員長が招集する。
<p>⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り (<input checked="" type="checkbox"/> (病院名：川崎医科大学附属病院) ・無) ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (<input checked="" type="checkbox"/> (病院名：川崎医科大学附属病院) ・無) ・技術的助言の実施状況 明確な改善点の指摘はなかった。

<p>⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>
<p>・体制の確保状況</p> <p>医学部・病院事務局患者支援センターに患者相談窓口を設置し、安全対策課職員・患者支援センター職員・ソーシャルワーカーが対応している。</p>
<p>⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況</p>
<p>・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p>
<p>⑭ 職員研修の実施状況</p>
<p>・研修の実施状況</p> <p>全職員を対象とし、新規採用職員医療安全・感染対策研修、TeamSTEPPS 研修を実施。</p>
<p>⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p>
<p>・研修の実施状況</p> <p>年に1回リスクマネージャー研修を実施している。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	①・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 2015年1月5日認定 認定3回目 初回認定2004年6月21日 認定番号 第JC221-3号 主たる昨日：一般病院2 機能種別版評価項目 3rdG:Ver.1.0 認定機関2014年6月21日～2019年6月20日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	①・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ① 他の医療機関向けに発送、ホームページ掲載 「診療のご案内」(特集疾患、診療案内、トピックス、専門医などの紹介)の発送 ② 地域の住民患者向け 「きずな」(2回/年)発行、ホームページ掲載、公開講座の開催	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	①・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・該当科へ対診依頼 ・緩和ケアチーム等が主科と連携して診療 ・救急災害センターにてER医が初期対応を行った後に専門診療科等へ後送	